

北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会 (第1回)説明資料

平成20年2月8日

事務局作成資料

事務局：国土交通省 近畿地方整備局

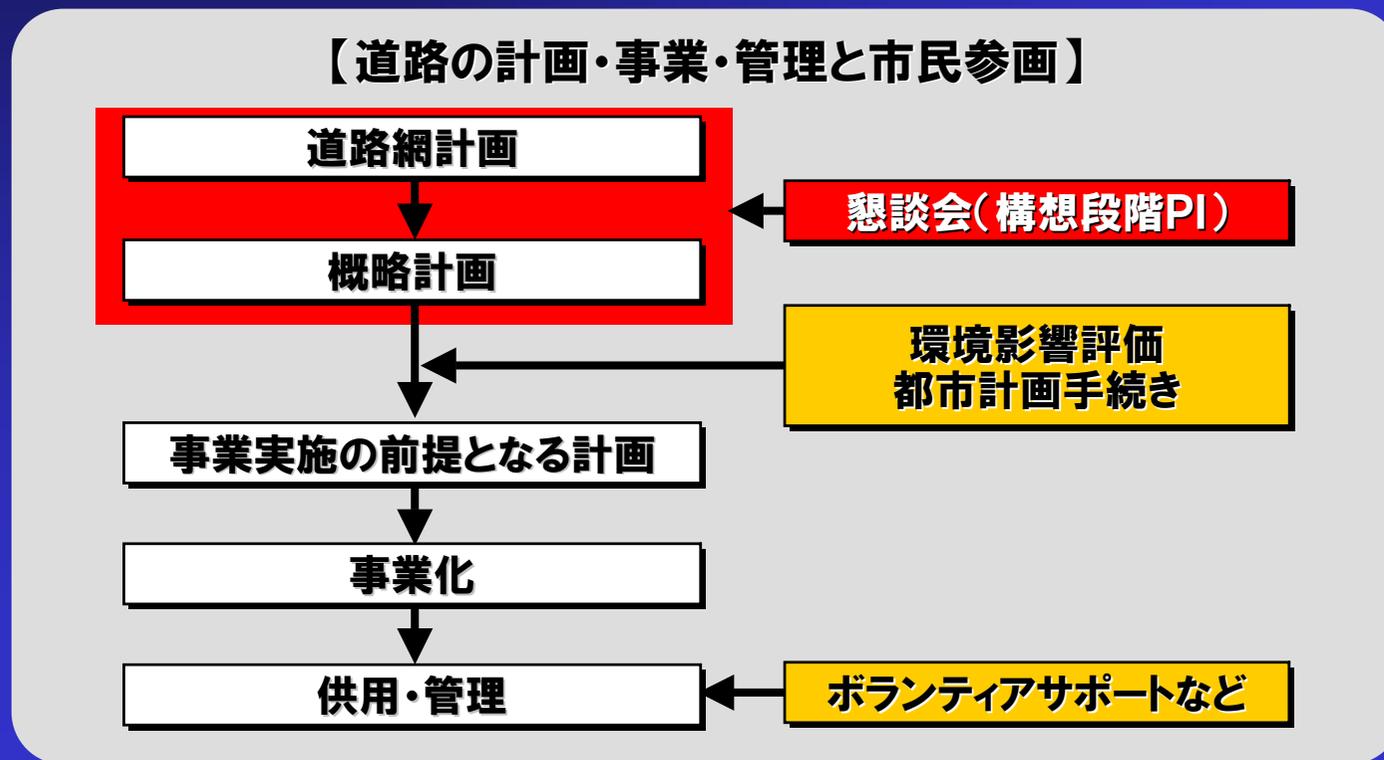
豊岡河川国道事務所

(1) 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」 懇談会の進め方

(1) 道路行政における市民参画(PI※)の取り組み

◆ 目的

- ①計画の早い段階から市民参画の導入を図り、計画決定プロセスの、透明性・客観性を高め、公正な判断を行うこと。
- ②道路計画に市民等の意見を反映し、より良い計画作りに資すること。



※PIとは・・・道路などの公共事業において、計画の初期の段階から、関係する市民の方々などに情報を公開して広く意見を聴き、計画づくりに反映する市民参画手法のこと。

(2) 懇談会について

① 懇談会の目的

- ◆ 学識者、市民代表、民間団体、行政機関、事業予定者が一体となり、豊岡道路の計画（みちづくり）について、よりよい計画となる様、審議して取りまとめる。

② 懇談会のメンバー構成

学識者	3名	流通科学大学経済情報学科教授 兵庫県立大学自然・環境科学研究科教授 兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授	西井 和夫 中瀬 勲 大迫 義人
市民代表	4名	豊岡市区長連合会会長 日下部 昌男 五荘地区区長会長 奈佐地区区長会長	白谷 光利 竹中 誠男
民間団体	2名	八条地区区長会長 豊岡商工会議所会頭	日村 和夫 宮垣 和生
行政機関	4名	但馬豊岡観光協議会 兵庫県但馬県民局 県土整備部 豊岡土木事務所長 豊岡市 都市整備部長 コウノトリ共生部長 国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所長	西村 肇 前田 強 黒坂 勇 太田垣 秀典 細川 雅

③ 懇談会の流れ

第1回 懇談会

- 『懇談会の進め方について』
- 『但馬地域の現状と課題について』
- 『豊岡道路の概要について』
- 『豊岡道路アンケート結果について』
- 『豊岡道路に求められる機能及び整備効果の検討』
- 『計画上のコントロールポイントと配慮事項の抽出』



第2回 懇談会

- 『第1回懇談会の意見を踏まえた概略ルート(案)を提示して検討』



第3回 懇談会

- 『豊岡道路計画の配慮事項及び概略ルート(案)をとりまとめる』

④ 懇談会での検討内容

	検討内容	アウトプット
第1回	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ①『懇談会の進め方について』 ②『但馬地域の現状と課題について』 ③『豊岡道路の概要について』 ④『豊岡道路アンケート結果について』 ⑤『豊岡道路に求められる機能及び整備効果の検討』 ⑥『計画上のコントロールポイントと配慮事項の抽出』 </div> <p>北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会の進め方について ・懇談会の進め方</p> <p>豊岡道路アンケート結果について ・豊岡道路アンケート結果の公表(案)</p> <p>豊岡道路に求められる機能及び整備効果の検討 ・豊岡道路に求められる機能及び整備効果の検討</p> <p>コントロールポイント及び配慮事項の抽出 ・コントロールポイント抽出 ・概略ルート(案)策定時の計画上の配慮事項抽出</p>	<p>→懇談会の目的、検討内容、スケジュールの決定</p> <p>→アンケート調査結果による但馬地域住民意見のとりまとめ ・アンケート調査結果の確認 ・アンケート調査結果の公表(案)</p> <p>→豊岡道路に求められる機能及び整備効果の共通認識化 ・アンケート調査結果を踏まえた豊岡道路に求められる機能の確認 ・アンケート調査結果を踏まえた豊岡道路の整備効果</p> <p>→概略ルート(案)策定時のコントロールポイント及び配慮事項の抽出 ・現地調査及びアンケート調査結果を踏まえ、コントロールポイントを抽出 ・アンケート結果を踏まえ、配慮事項を抽出</p>

④ 懇談会での検討内容

	検討内容	アウトプット
第2回	<p>『第1回懇談会の意見を踏まえた概略ルート(案)を提示して検討』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回懇談会での意見を踏まえ、コントロールポイント及び計画上の配慮事項をもとに概略ルート(案)を提示して検討 ・概略ルート(案)に対する意見の抽出 ・インターチェンジの必要性の検討 	<p>→概略ルート(案)の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回で抽出されたコントロールポイント及び計画上の配慮事項をもとに作成された概略ルート(案)に対する意見抽出 <p>→インターチェンジの目的・必要性を整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概略ルート(案)をもとにICの必要性について検討
第3回	<p>『豊岡道路計画の配慮事項及び概略ルート(案)をとりまとめる』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊岡道路の必要性について ・概略ルート策定時の配慮事項 <ul style="list-style-type: none"> →コントロールポイントなどの配慮事項 →機能役割に対する配慮事項 	<p>→とりまとめとして盛り込むべき内容の決定</p>

(2) 但馬地域の交通における 現状と課題

高速道路ネットワークが未整備

- ・但馬地域の高規格道路等の整備率は未だ3割と遅れている。(但馬を除く兵庫県内の整備率は8割)
- ・但馬地域の大部分はインターチェンジからの30分アクセス圏外で、高速道路へのアクセス性が不十分であり、企業誘致や観光客誘致の障害となっている



【但馬地域の整備率】(39/111km 35%)
 (内訳)
 北近畿豊岡自動車道(但馬): 約11/43km
 (全体: 約36/70km)
 鳥取豊岡宮津自動車道: 6/46km
 播但連絡道路: 約22/22km

高規格幹線道路 (平成19年3月現在)	
	供用区間
	整備計画区間
	基本計画区間
	予定路線区間
地域高規格道路 (平成19年3月現在)	
	供用区間
	整備区間
	調査区間
	計画路線
	候補路線

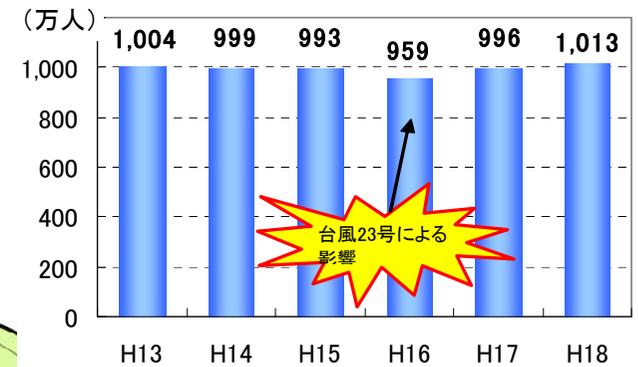
平成19年4月1日現在
 出典: 近畿地方整備局

大都市から遠い但馬～観光振興に課題

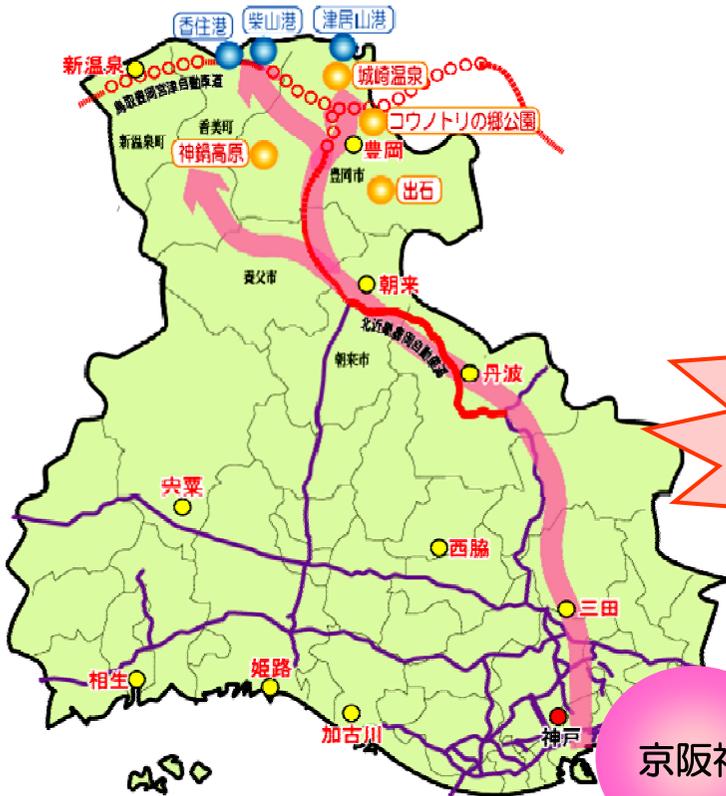
- ・但馬地域には**観光資源が豊富に存在し**、観光入込客数は年間1千万人で推移
- ・しかし**高速道路が未整備のため、大都市圏からの所要時間が長く**、観光誘客の障害に



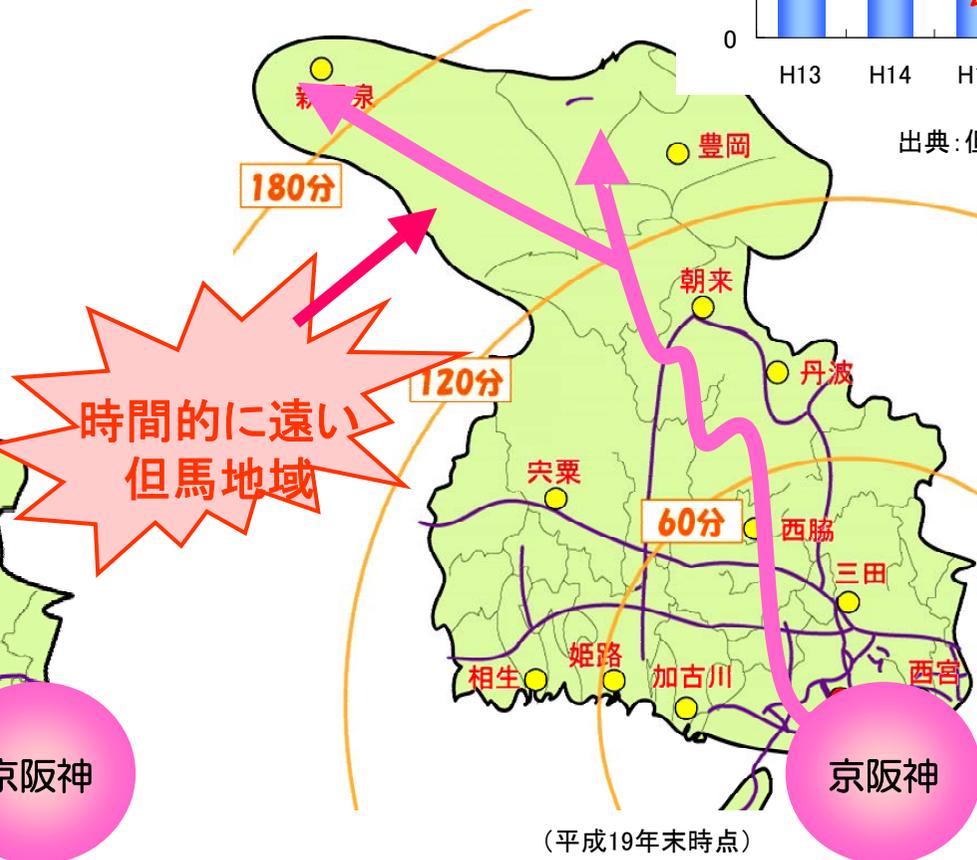
▼ 但馬の観光入込客数の推移



▼ 但馬の主な観光施設分布



▼ 兵庫県庁からの時間距離地図

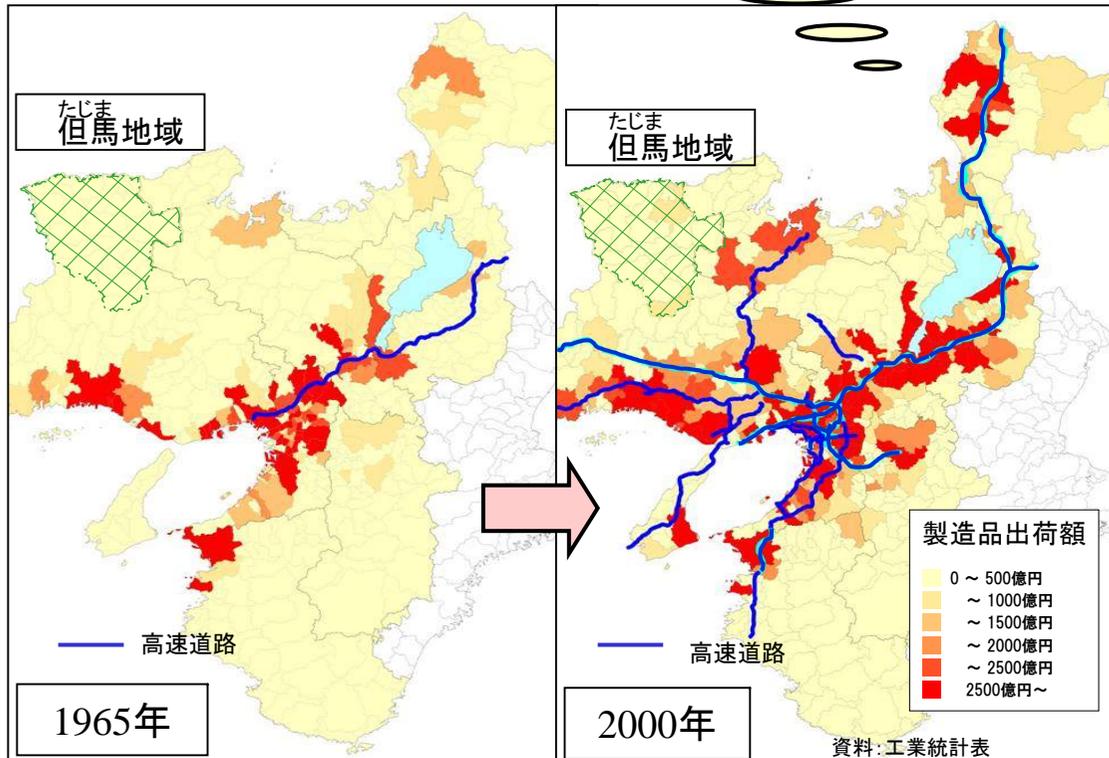


出典: 但馬の観光(但馬県民局)

高速道路から遠い但馬～産業振興にも支障

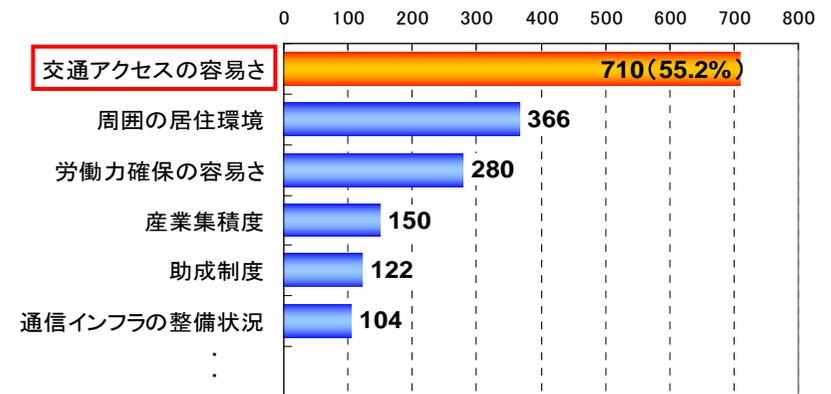
- ・大阪湾臨海部及び京阪神地域に集積していた**産業活動**が、高速道路の整備とともに、**高速道路沿道地域に拡大**
- ・**但馬地域**では**高速道路の整備が遅れている**ことによって、**製造品出荷額が他地域に比べ低い**ままとなっているなど**産業活動が停滞**

高速道路沿線を中心に
製造品出荷額が増加



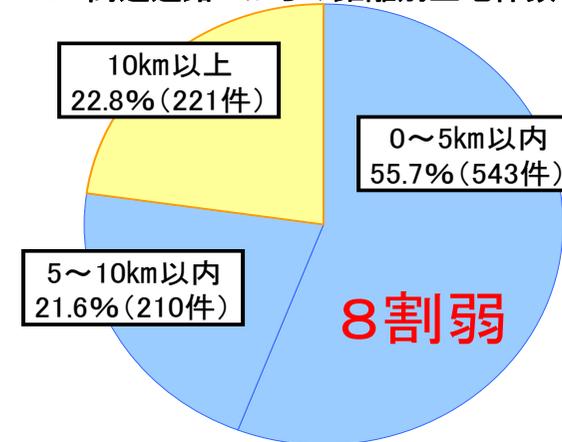
▲ 高速道路の整備と製造品出荷額の推移

▼ 立地先選定の決め手と考える条件



資料:「企業立地(誘致)に関する意向調査」(2005.10)帝国データバンク

▼ 高速道路ICからの距離別立地件数

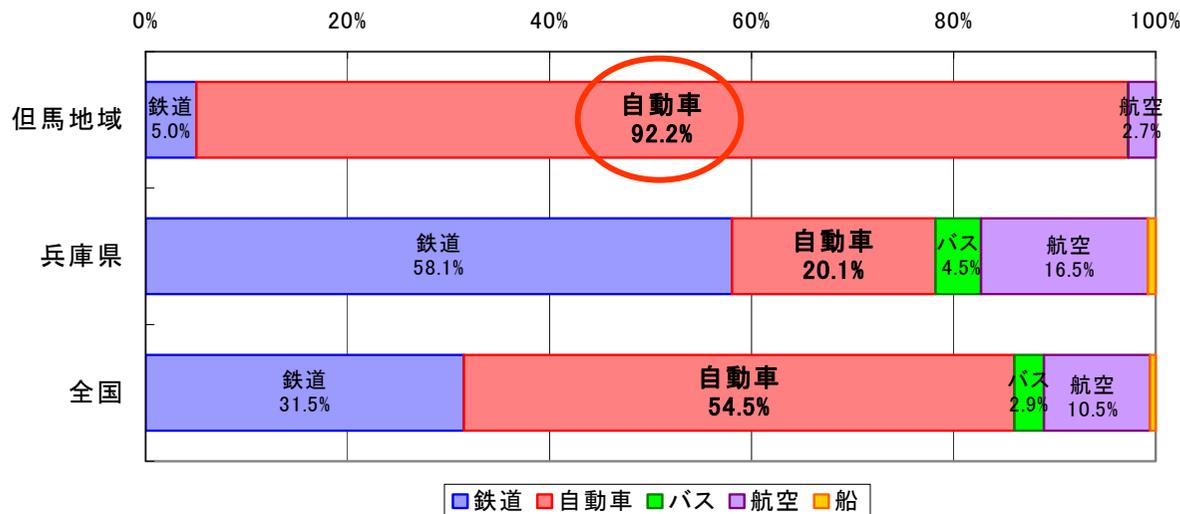


資料:「工場立地動向調査」平成18年9月 経済産業省 経済産業政策局

自動車利用の多さと交通渋滞の発生

但馬地域では、移動の多く(9割以上)を自動車に依存し、道路は生活に必要不可欠となっているが、朝夕・観光期の交通渋滞や冬季の円滑な交通確保が課題となっている

▼居住地ごとの地域間移動手段分担率



資料：第4回全国幹線旅客純流動調査(2005年)

交通機関別生活圏間流動表
(秋期1日の居住地から旅行先間の流動)

大都市圏内々、県内々の流動量は対象外

但馬地域の1世帯当たりの自動車保有率
2.3台／世帯 (平成17年3月末現在)
(兵庫県全体では、1.3台／世帯)

出典：自動車保有台数：兵庫県統計書(原付・二輪及び小型特殊を除く)
世帯数：国勢調査(平成17年)



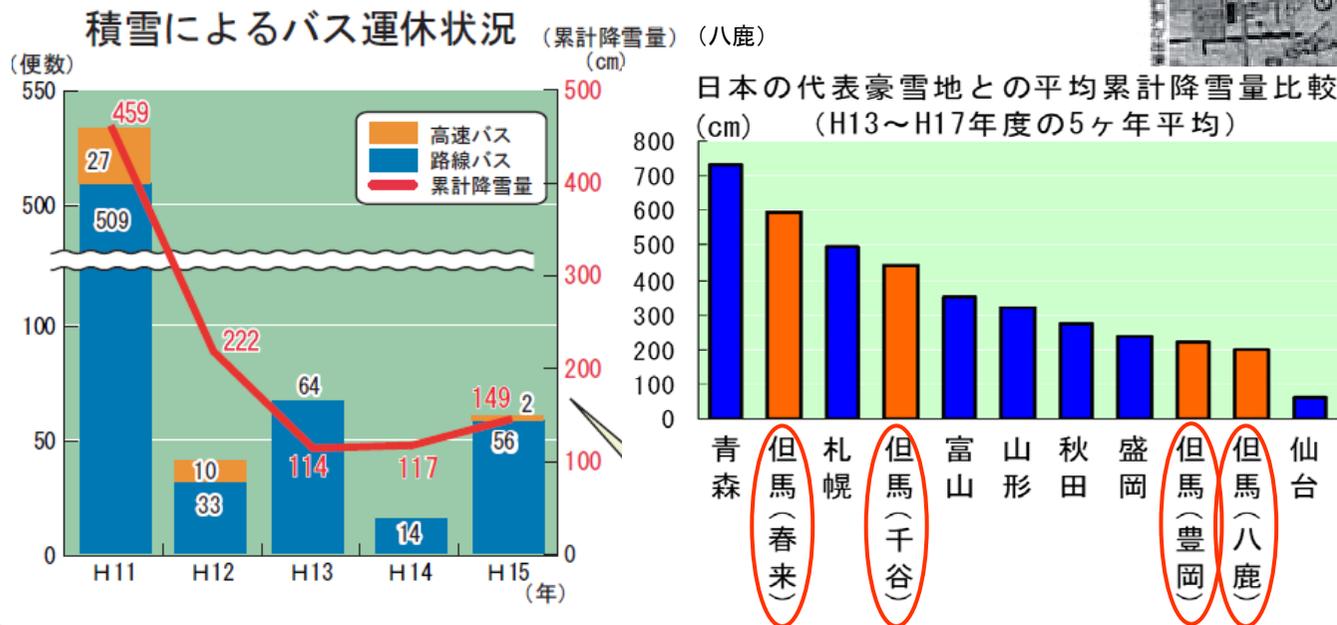
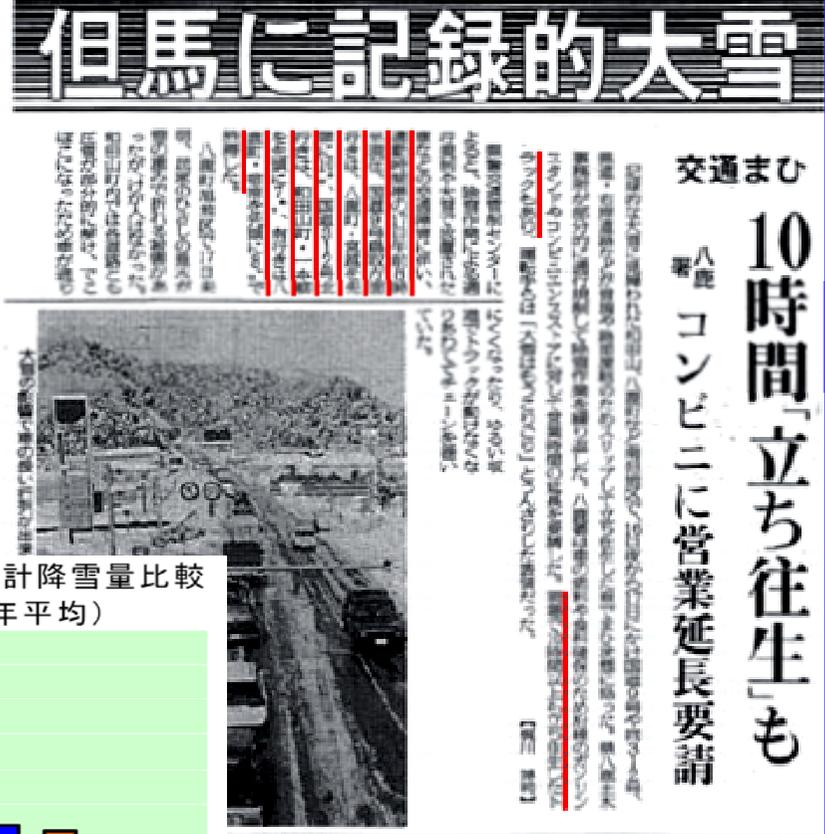
▲ 休日の渋滞状況(豊岡市内)



▲ 積雪時の状況(国道312号 豊岡市内)

冬季積雪時における自動車交通への影響

- ・但馬地域では、東北地方に匹敵する多くの降雪があり、過去に交通マヒなどの発生例もあった
- ・積雪により路線バスが運休する場合もあるなど、冬季の交通確保が但馬の大きな課題

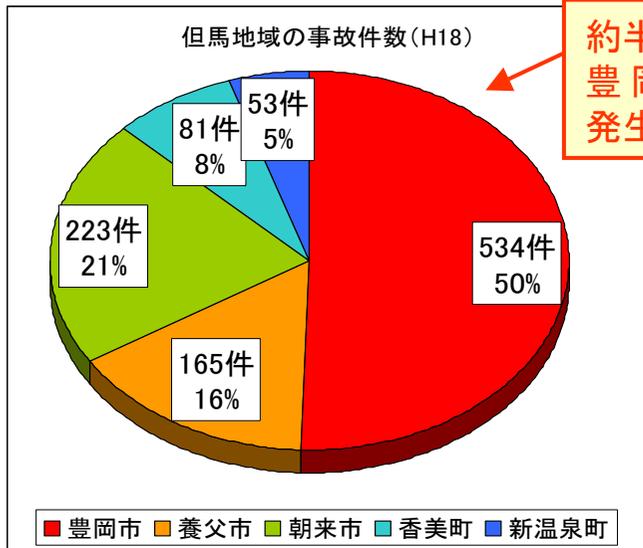


東北地方に匹敵する多くの降雪

生活道路の交通事故が多発

- ・但馬地域での交通事故発生件数の約半数が、豊岡市内で発生
- ・特に**国道312号立野橋交差点**付近で交通事故が多発、特に**冬季の交通事故が多い**

▼ 但馬地域の事故件数 (平成18年)



約半数が豊岡市内で発生

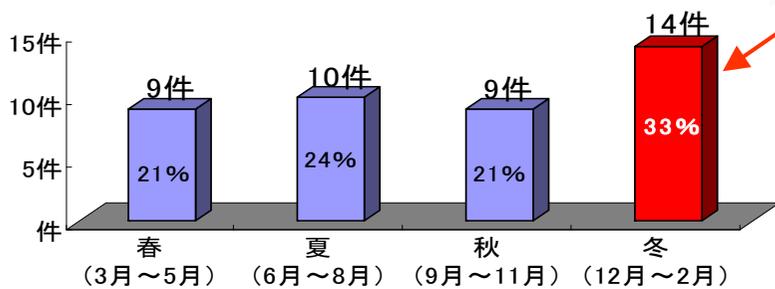
▼ 豊岡市内の国道312号における交通事故発生位置(平成18年)



立野橋交差点

国道312号では冬季の事故が多い

▼ 国道312号の季節別事故件数 (平成18年)



まとめ：但馬地域の生活と道路との関わり

まちの活性化の観点

高速道路ネットワークが未整備

→ 大都市から遠い但馬～観光振興に課題

→ 高速道路から遠い但馬～産業振興にも支障

自動車利用の多さと交通渋滞の発生



安全・安心な暮らしの観点

冬季積雪時における自動車交通への影響

生活道路の交通事故が多発

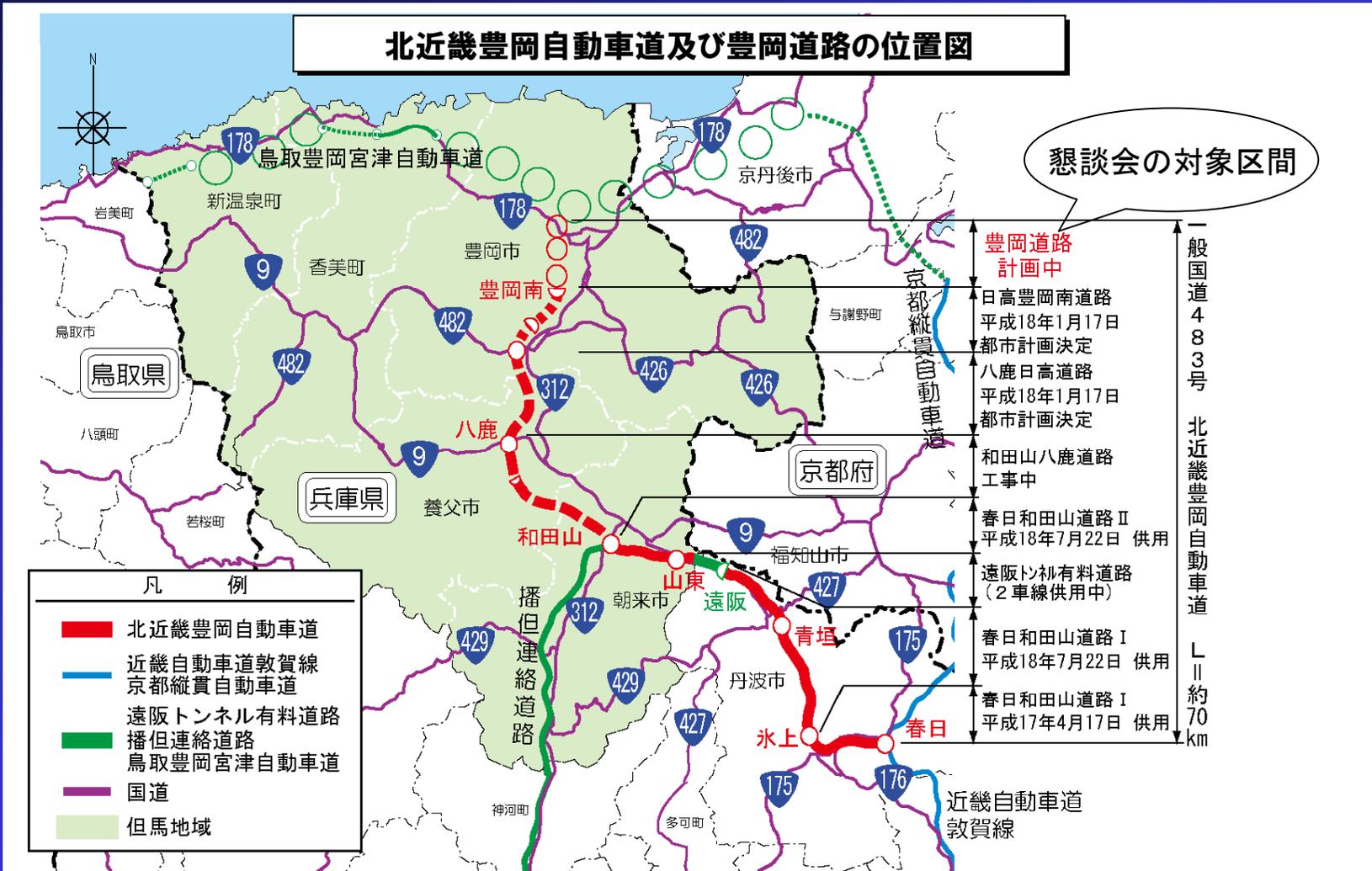
災害の頻発する但馬～生活・医療への不安



(3) 豊岡道路の概要

北近畿豊岡自動車道の概要

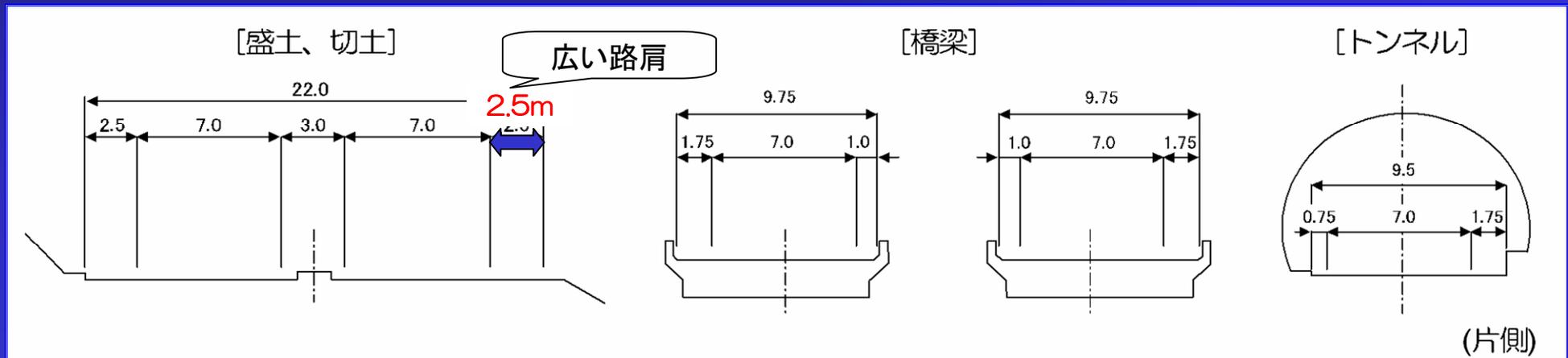
北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」は、北近畿豊岡自動車道の他の区間と一体となって但馬地域の活性化を支援するとともに、冬季積雪時や洪水などの災害時における円滑な交通の確保、国道312号等の朝夕の渋滞や観光交通による渋滞の緩和、交通安全の確保などを目的としています。



(参考)

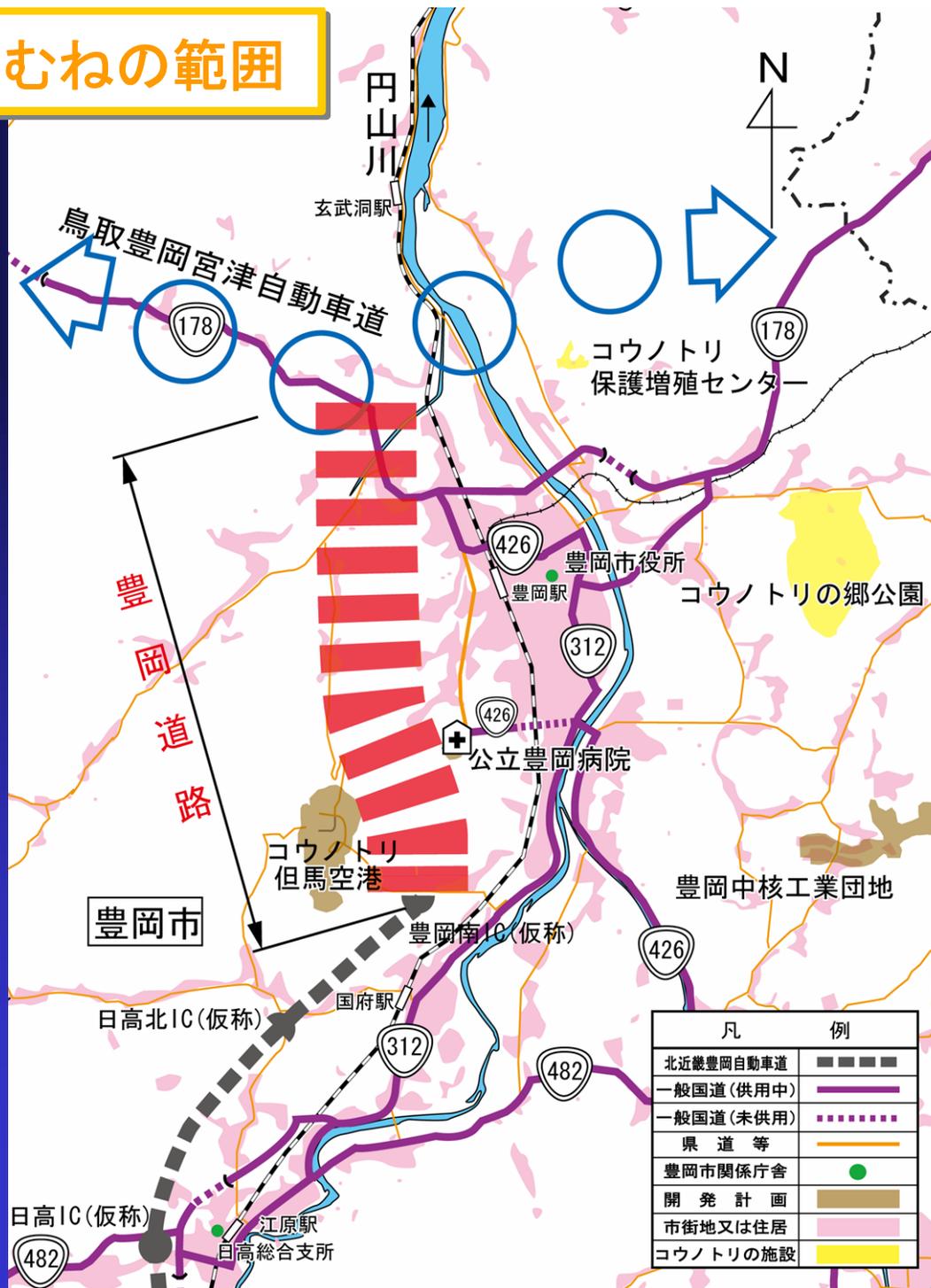
「北近畿豊岡自動車道(日高豊岡南道路、八鹿日高道路)」の概要

- ①道路種別：一般国道の自動車専用道路
- ②設計速度： $V=80\text{km/h}$
- ③車線数：4車線（暫定2車線整備）
- ④標準横断及び道路幅員



※ 土工区間（盛土、切土）は、一次堆雪幅を確保し、冬期堆雪時でも安全な交通を確保可能な全路肩(2.5m)としている。

「豊岡道路」のおおむねの範囲



※アンケート配布時の図面

(4) 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」 アンケート調査結果

1. 概要

■ 概要 豊岡道路の計画策定に向けて、豊岡市内のお住まいの方々に、但馬地域の道路の現状や北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」に対するご意見をお伺いしました。

■ 実施時期 平成19年8月下旬～9月上旬

■ アンケート対象者・豊岡道路の計画地域の住民と商工産業に関わる方

- ・ 豊岡市内の住民 全戸配布
- ・ 豊岡市内の商工会 会員全員

■ アンケート配布数・回収数

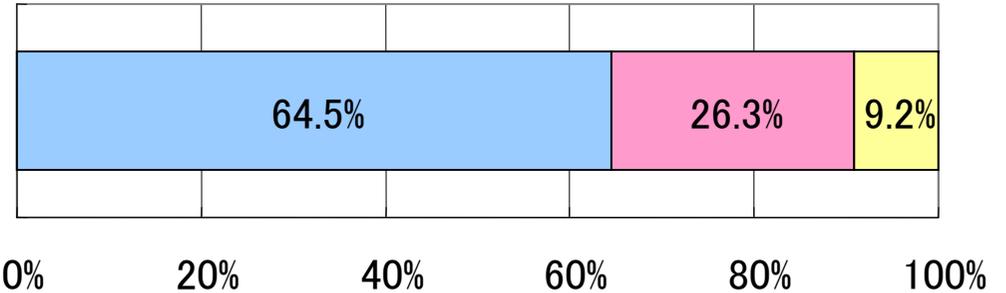
配布数	回収数	回収率
34, 286	11, 862	34.6%

2. 回答者の属性

性別

男性からの回答が約6割を占めました。

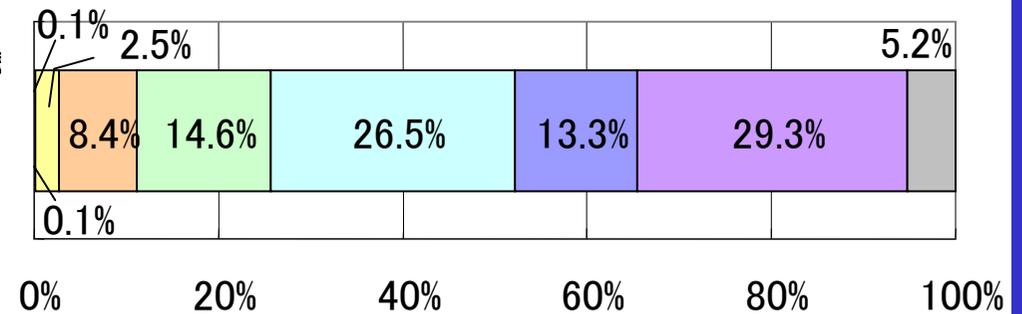
■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答



年齢

40～65歳以上の回答が約8割を占めました。

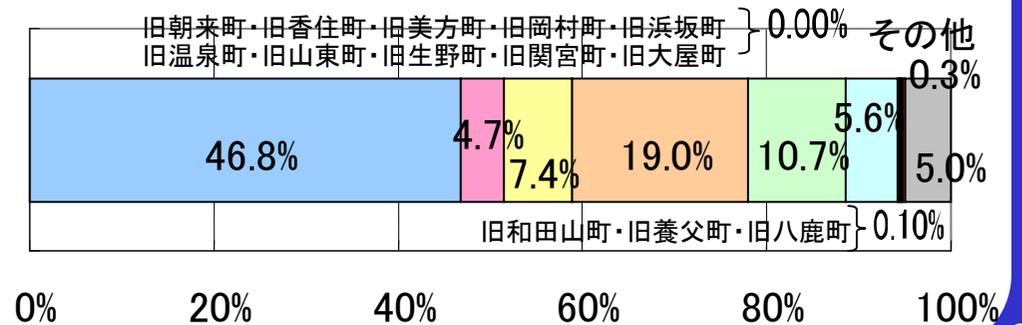
■ 14歳以下 ■ 15～19歳 ■ 20～29歳 ■ 30～39歳
 ■ 40～49歳 ■ 50～59歳 ■ 60～69歳 ■ 無回答



住所

「旧豊岡市」からの回答が約5割を占めました。

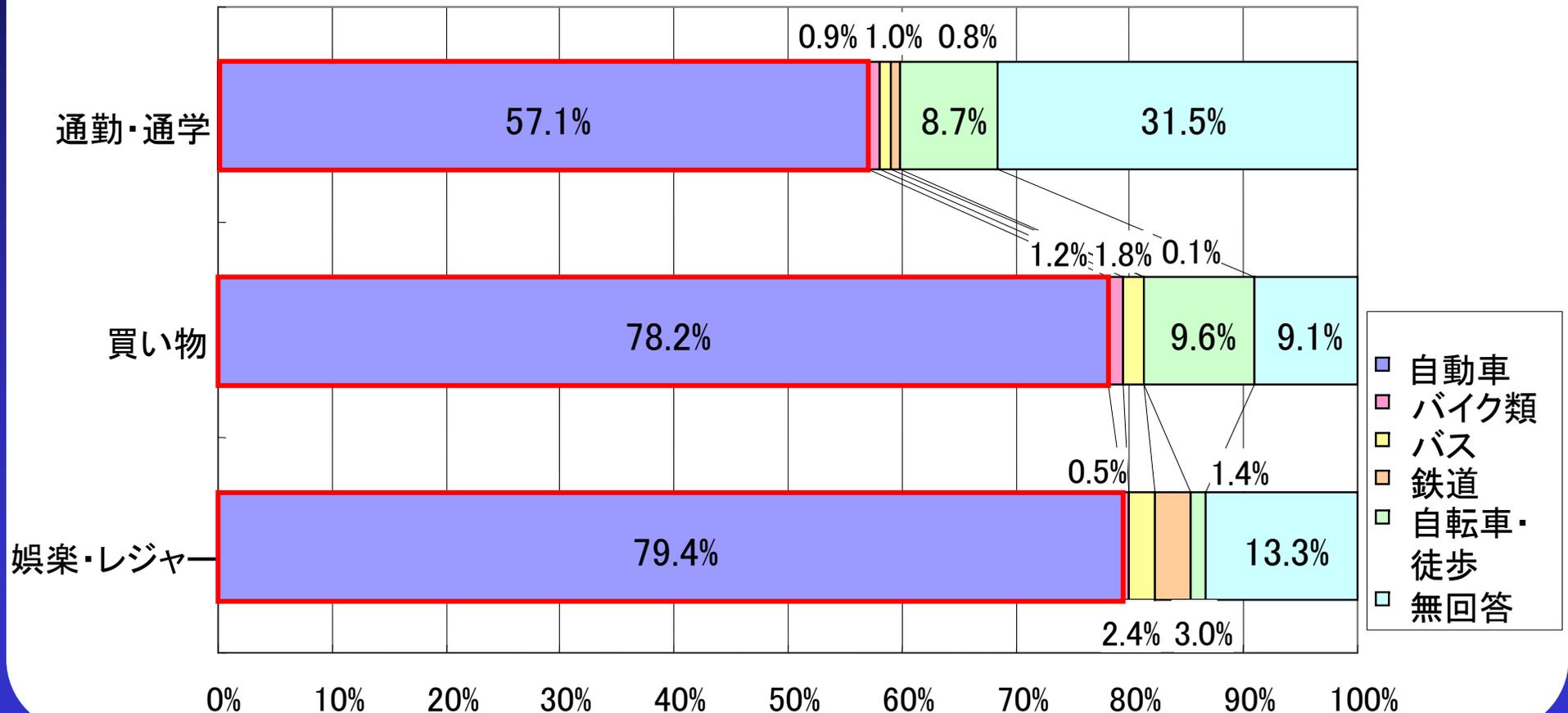
■ 旧豊岡市 ■ 旧城崎町 ■ 旧竹野町 ■ 旧日高町
 ■ 旧出石町 ■ 旧但東町 ■ 旧八鹿町 ■ 旧養父町
 ■ 旧大屋町 ■ 旧関宮町 ■ 旧生野町 ■ 旧和田山町
 ■ 旧山東町 ■ 旧朝来町 ■ 旧香住町 ■ 旧村岡町
 ■ 旧美方町 ■ 旧浜坂町 ■ 旧温泉町 ■ その他
 ■ 無回答



交通手段

日常の主な交通手段として、自動車を利用する人は、通勤・通学で57%、買い物で78%、娯楽・レジャーで79%と非常に多いことが解りました。

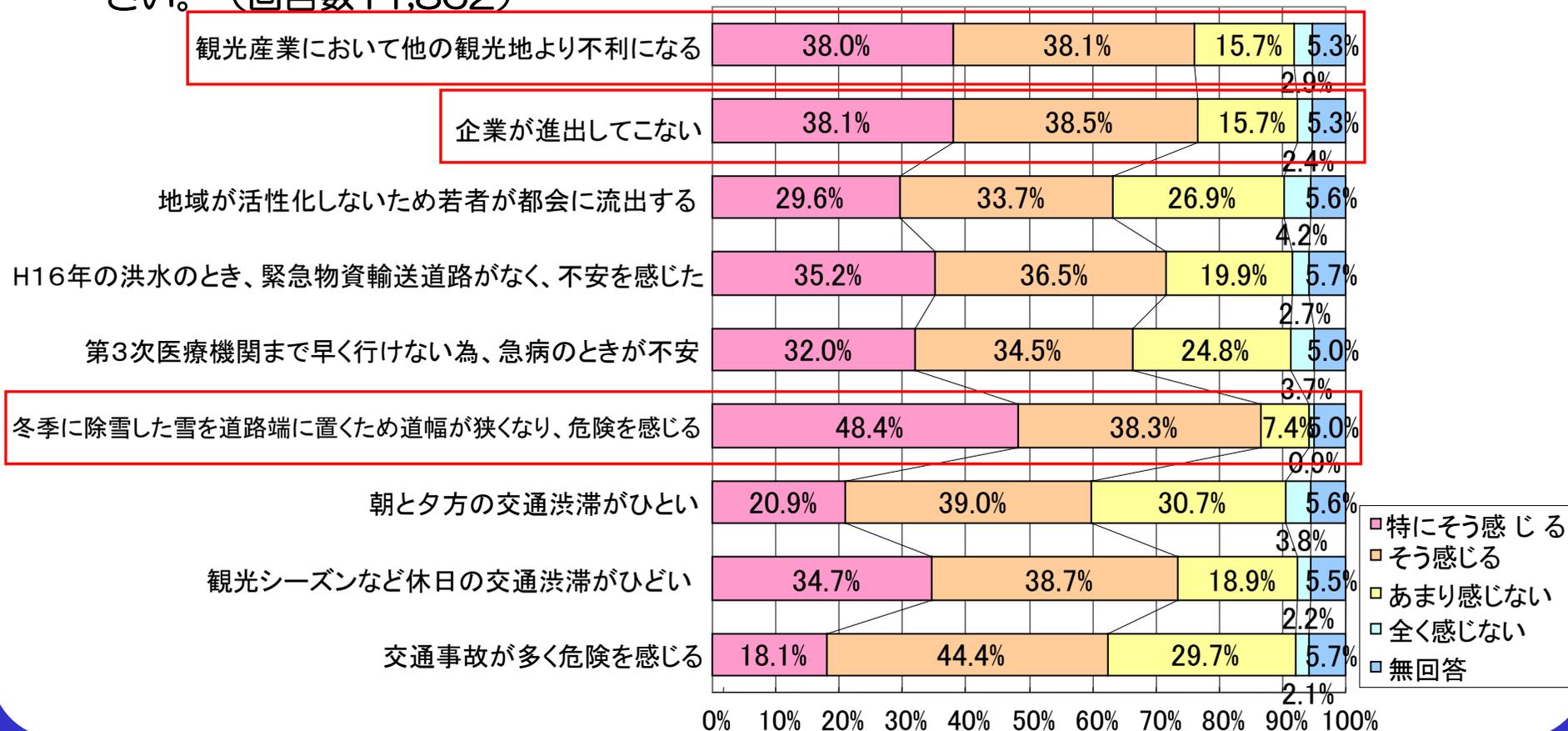
設問 日常の主な交通手段は何を使われますか？（回答数11,862）



3. 現状認識：但馬地域の道路について

冬季における走行性に関心を示す人が87%、地域の活力について関心を示す人が76~77%いました。

➡ 設問 但馬地域の道路についてどのように感じられますか？最も近いものを1つお選び下さい。（回答数11,862）



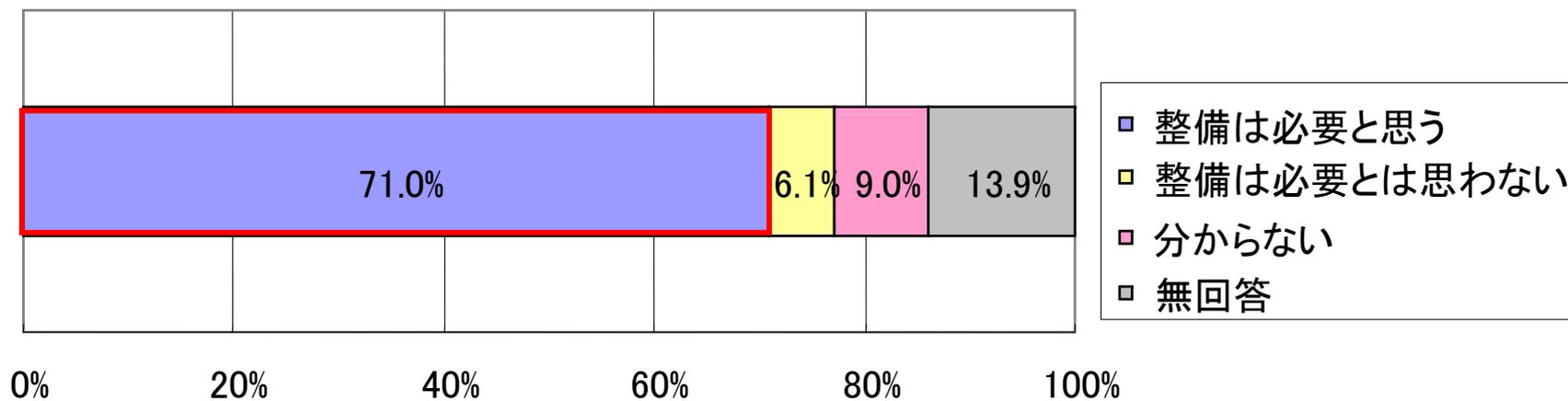
自由意見では、但馬地域の道路について様々な意見を頂いた。主な意見は、「時間短縮」や「観光シーズン時の渋滞」「災害時の通路確保」「地域活性化」「冬季対策」などでした。その他「豊岡道路の早期整備」や、「一般道の整備」「路面状態」などに関する意見がありました。

➔ 自由意見

項目	主な意見
交通に関する意見 (1,524件)	<p>【所要時間】 和田山から豊岡までが一段と時間を要するようになる感じる。</p> <p>【渋滞】 夏場の観光シーズンと冬のカニの時期は、交通渋滞がひどい。</p> <p>【災害：緊急】 災害による道路の寸断を避けたい。災害時における避難路の確保。</p> <p>【交通事故】 歩道もなく道幅が狭い。</p> <p>【ネットワーク】 もっと一般道の整備を望む。</p>
環境 (55件)	自然が沢山あるので、道路整備に期待している
社会経済 (183件)	<p>【地域活性化(肯定)】 地域格差の解消の一助として、地域との交流、物流の充実のため、整備が役立つ。</p> <p>【地域活性化(否定)】 高速道が豊岡まできても、旧香住・鳥取にのび、城崎の客足が減ると思われる。</p>
その他 (2,820件)	<p>【早期整備】 但馬地域は高速道路の空白地域と言われている。1日も早い高速道路の整備を望む。</p> <p>【道幅】 道路幅が狭く、右折等、左折等事故をしないように気をつけている。</p> <p>【冬季対策】 降雪地区の道路構造の改良。</p> <p>【路面】 路面の状態が悪く、凹みも多い為、事故が発生しやすい様に感じる。</p> <p>【マナー】 マナーが悪いと思う。</p>

「豊岡道路」の整備が必要だと考えている人は回答者の71%で、必要ないと考えている人の6%を大きく上回りました。

➡ 設問 「豊岡道路」の整備は必要と思いますか？（回答数11,862）



- ・ “整備は必要と思う” との意見が最も多くなりました。
- ・ “整備は必要と思わない” 方からは、整備のデメリットに関する意見が多い。
- ・ “分からない” 方からは、整備のメリットとデメリットの両方に対する意見がありました。
- ・ デメリットの主な意見は、「事故が増える」「自然環境の破壊」「出来ることにより過疎化が進む」などでした。

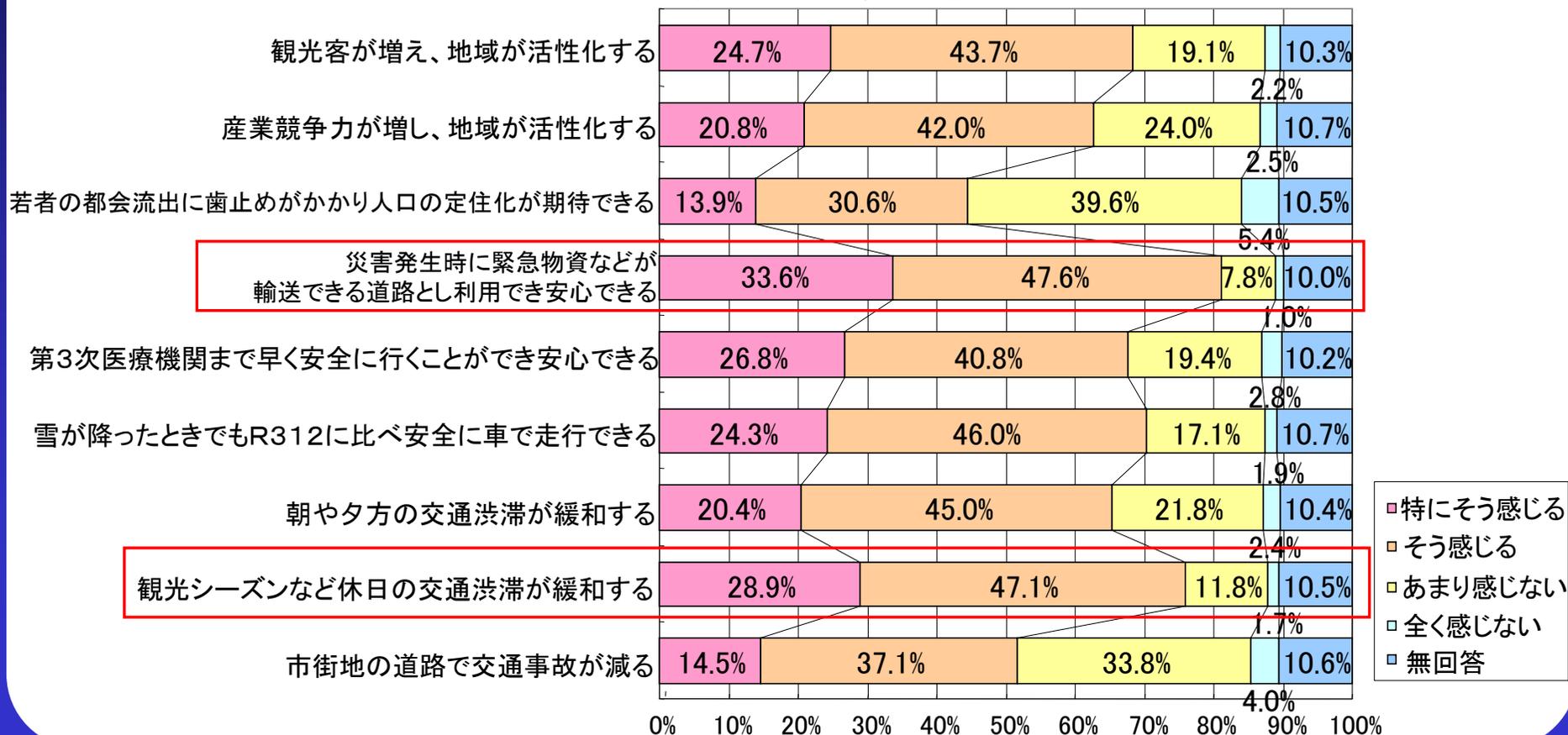
自由意見

項目	主な意見
整備は必要と思う (3,811件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関西方面の移動時間の短縮。 ・ 23号台風の時に、各所に交通止があったので、幹線道路はしっかりしたものがあれば良い。 ・ 一般道を通る車両が減ることにより事故も減ると思う。 ・ 地域の活性化のため、交通の便は生活、住居、文化活動につながる根幹である。
整備は必要と思わない (409件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏盆前後が渋滞するぐらいでその他の期間はあまり渋滞しないと思う。 ・ 車の通行がふえ事故や泥棒などがふえるだけ。 ・ メリットも多いがデメリットも多くでてくる。一般道の整備が優先ではないかと思う。 ・ コウノトリとの共生をめざす豊岡市に自然環境を破壊してまで道路はいらない。 ・ 道路より地場産業の発展及び、観光施設等の充実が必要。 ・ 完全につながると豊岡が単なる通過点になってしまう。
分からない (260件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光シーズン等、旧豊岡市内が渋滞しなくてよいように思うが、旧市内からすれば通り抜けされるのが一概によいとは言えないだろう。 ・ 市街地に於いて20~30mmの雨により家が進水する地域があるのに、無駄な金を使わず、市内の道路整備が先決だ。 ・ 社会産業の発展には不可欠。自然環境が損ねる。将来的な維持管理コストの増大。 ・ 町や市は活性化してほしいが、高速道路が通ると、犯罪が増える。 ・ 道路が出来てのメリットは言われるがデメリットも言わないと何も言えない。 ・ 鳥取豊岡宮津道の具体的な進展状況に合わせ、慎重に進めるべき。

4. 「豊岡道路」の整備により期待する効果

災害発生時における緊急物資などの輸送道路としての効果を重要視する人が81%、観光シーズンの渋滞緩和効果を重要視する人が76%でした。

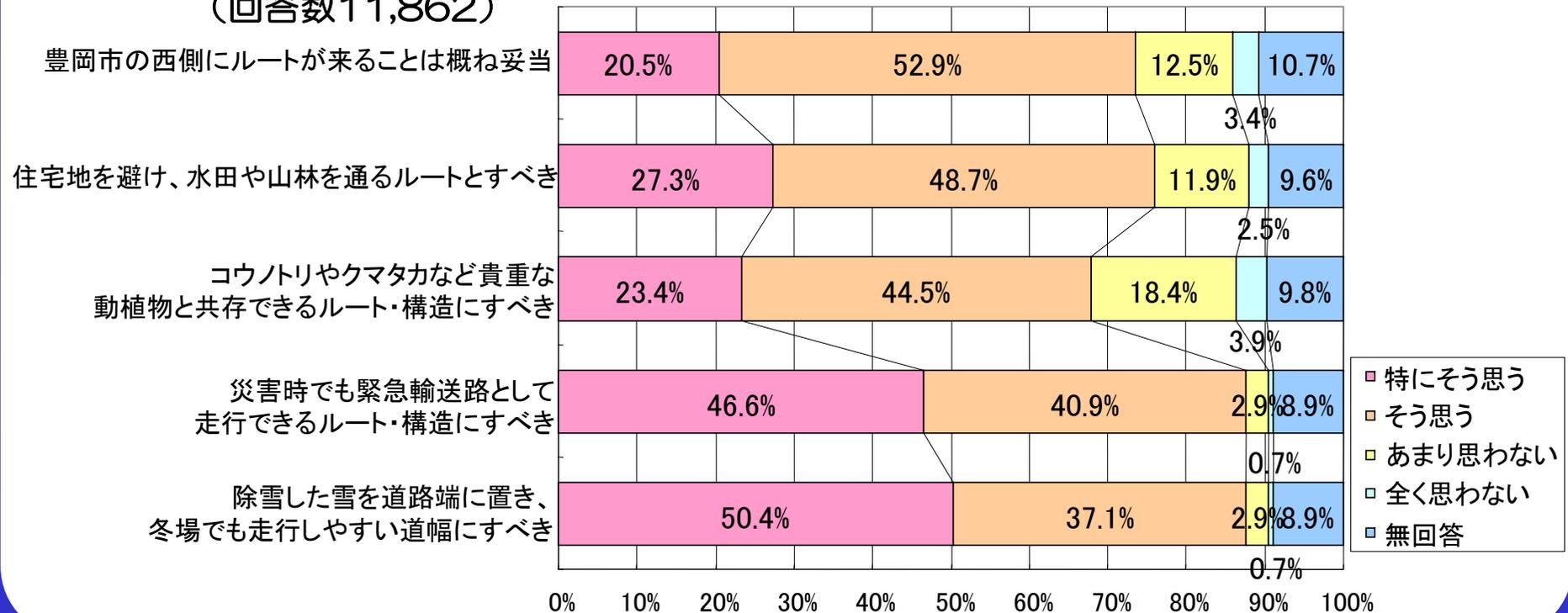
- 設問 「豊岡道路」が整備されることにより期待される効果についてあなたの考えに最も近いものをお選び下さい。(回答数11,862)



5. 「豊岡道路」の検討における配慮事項

- ・概ねのルートについて、「豊岡市の西側」「住宅地を避け水田や山林を通る」とする人が70%以上と多いことが解りました。
- ・ルート及び構造については、「動植物との共存」「災害時での利用」「冬場の走行性」を重要視する人がいずれも65%以上と多いことが解りました。

➡ 設問 「豊岡道路」をさらに検討していく際に、どのような事に配慮すべきでしょうか。
(回答数11,862)



自由意見では、豊岡道路計画の配慮事項について様々な意見を頂きました。主な意見は、「交通（所要時間短縮、渋滞緩和、災害に強い道路）」や「環境への配慮（生態系、生活環境）」「冬季対策」などでした。

➡ 自由意見

項目	主な意見
交通 (1,271件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊岡から和田山迄時間がかかり過ぎる約45分～1時間。 ・ 通勤時間帯の渋滞と行楽シーズンの大渋滞解消できる「豊岡道路」は絶対必要である。 ・ 水害、雪に強い道路にしてほしい。 ・ 住宅地を避けると、事故も少なくなり、山林などを通る方が自動車運転も疲れない。 ・ 歩道など道幅に余裕。 ・ インターチェンジとのアクセス道路の整備。既存道路の改良整備をお願いしたい。
環境・景観 (665件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 但馬地方だけ生態系の共存出来ることが可能か。十分検討を望む。 ・ 周辺住民の生活（騒音、環境など）に配慮が必要だと思う。 ・ 景観を損うと観光業にとって、大きな打撃。
土地利用 (91件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅地を避け、山間地を利用する。
社会経済 (120件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光に結びつける道路に。但馬は観光しかない。 ・ 通過点にしないほうがよい。
事業性 (96件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 供用後、管理のやり良い、管理費の少ない道路。
その他 (1,568件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥取豊岡宮津自動車道の早期実現のためにも、豊岡道路を1日も早く実現させるべき。 ・ 可能なかぎり道幅の広い道路が必要。 ・ 災害時と冬場に活躍できる道路。

(5) 豊岡道路に求められる 機能及び整備効果

但馬地域の現状と市民の意見

但馬地域の交通の課題

まちの活性化の観点

高速道路ネットワークが未整備

大都市から遠い但馬～観光振興に課題

高速道路から遠い但馬～産業振興にも支障

自動車利用の多さと交通渋滞の発生

安全・安心な暮らしの観点

冬季積雪時における自動車交通への影響

生活道路の交通事故が多発

災害の頻発する但馬～生活・医療への不安

市民の意見

豊岡道路アンケートで寄せられた
市民の主な意見

- 所要時間短縮
- 通勤時間帯と行楽シーズンの渋滞緩和
- 水害・雪に強い道路
- 住宅地の交通事故削減
- 生態系への配慮・共存
- 景観・環境などへの配慮
- 災害時と冬季の足の確保

豊岡道路に求められる機能

地域を活性化

所要時間の大幅短縮

観光客の増加

企業立地の促進

生活道路の渋滞緩和

- 大都市圏や、近畿圏外の各地とのアクセス性も向上
- 観光地がより身近になり、来訪客の増加が期待
- 物流の迅速化により沿線の新規企業立地が進む
- 朝と夕方、観光シーズンの渋滞が緩和

環境と暮らしを守る

交通事故の減少

自然・環境との調和

災害時の輸送路確保

地域医療の支援

冬季交通の確保

- 国道312号等での交通事故の発生を低減
- 但馬の豊かな自然環境に配慮した計画とする
- 災害時における緊急輸送路として機能する
- 公立豊岡病院へのアクセスが向上
- 大雪時でも但馬地域の市民の生活を支える

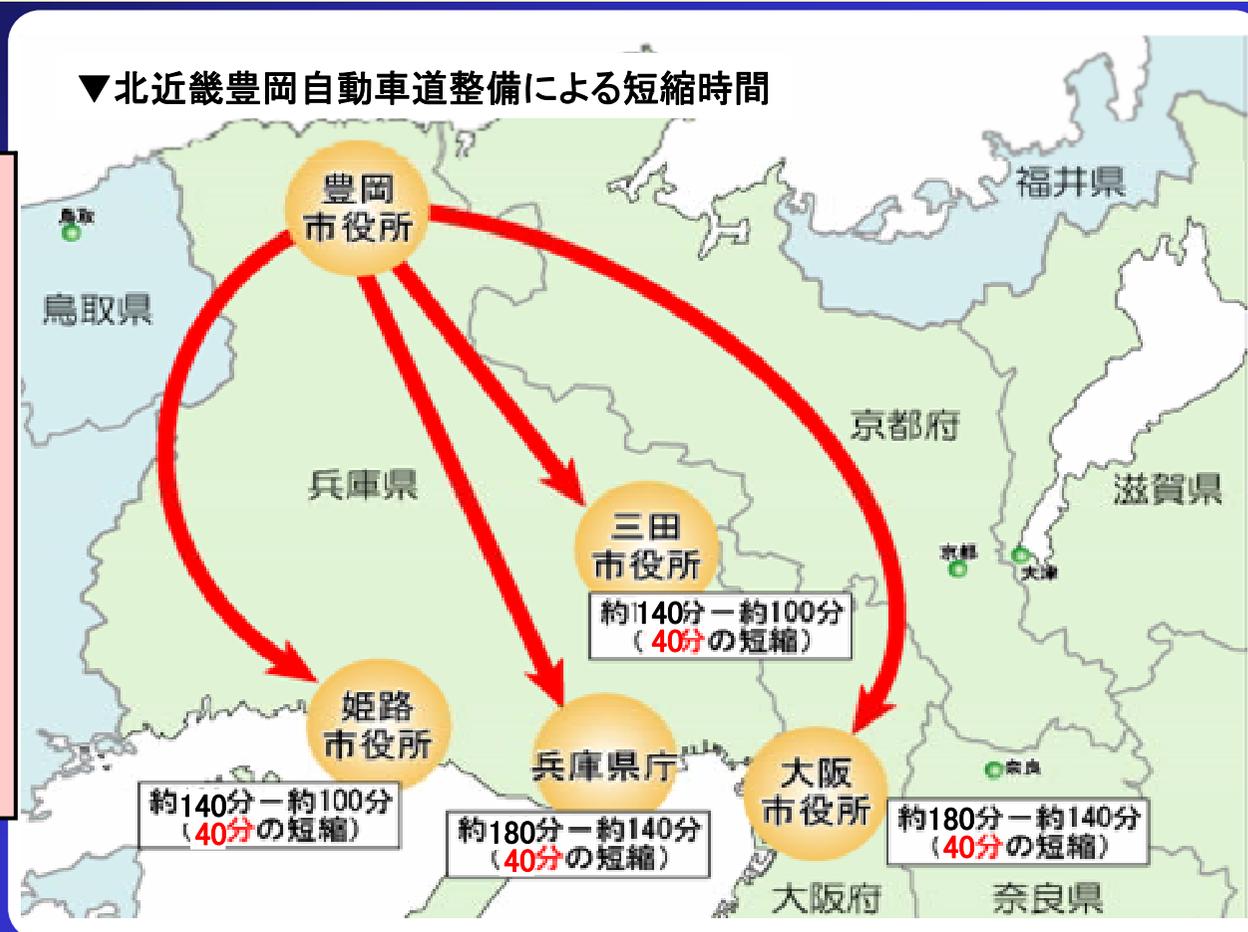
①所要時間の大幅短縮

大都市圏や、近畿圏外の各地とのアクセス性が向上します。北近畿豊岡自動車道整備で**約40分短縮**

- ・春日和田山道路の供用により、豊岡市役所から大都市圏までの移動時間が約20分短縮した
- ・豊岡道路を含む北近畿豊岡自動車道が全線供用すると、さらに約20分、合計で約40分の短縮



- ・広域幹線道路ネットワークの一翼を担うことにより、兵庫県内はもとより、大阪方面を始めとする**大都市圏や、近畿圏外の各地とのアクセス性も向上**
- ・企業立地や観光誘客等に伴う雇用の促進が期待され、人口の定住化が期待される



②観光客の増加

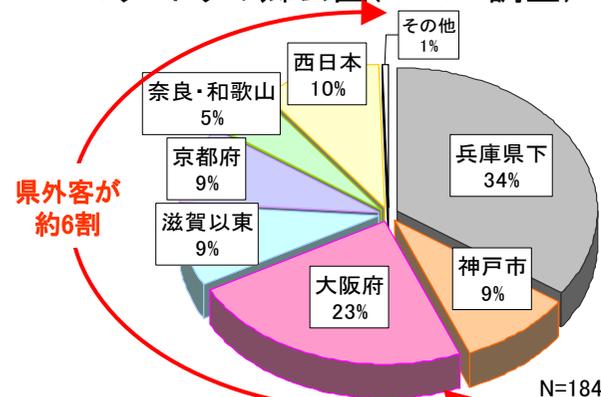
観光地がより身近になり、来訪客の増加が期待されます。

- 但馬地域は、大阪など他府県からも多くの方が訪れ、その多くは、**自動車や貸し切りバスなどで道路を利用**
- 北近畿豊岡自動車道の整備により、**観光地がより身近になり、来訪客の増加と地域の活性化が期待**できる

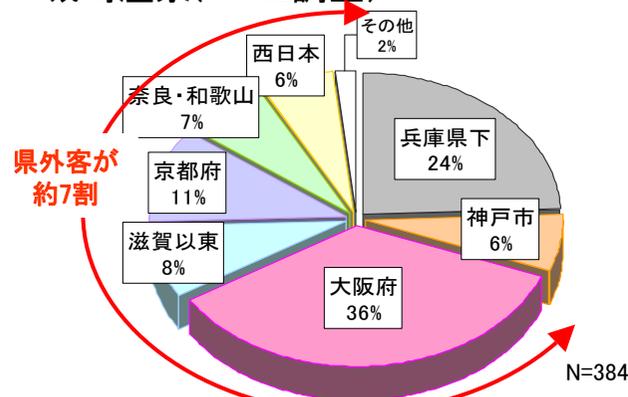
観光客アンケート結果

▼ 観光客の出発地(居住地)

コウノトリの郷公園(H19.11調査)

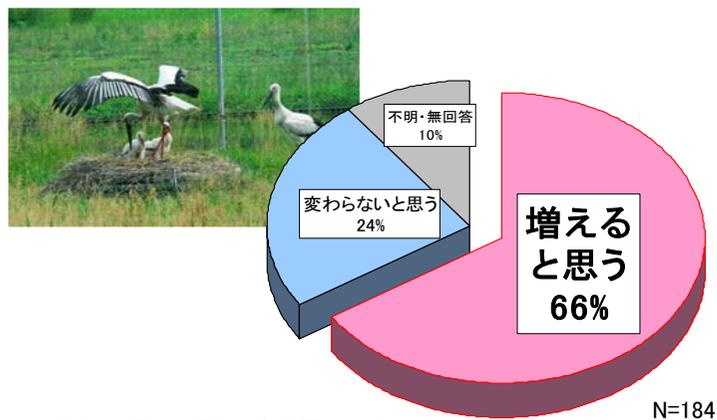


城崎温泉(H17.2調査)



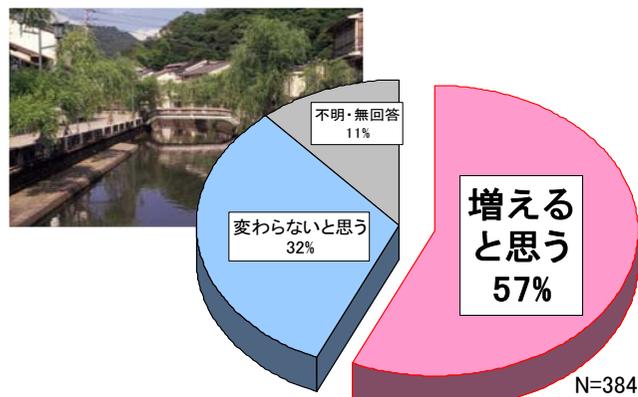
▼ 北近畿豊岡自動車道全線整備によって但馬地域への来訪が増えると思うか

コウノトリの郷公園(H19.11調査)

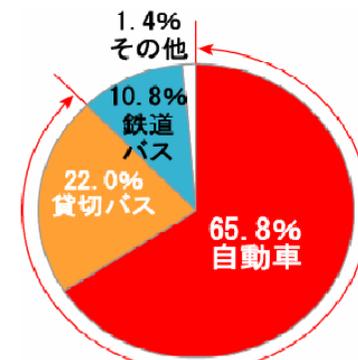


出典：豊岡河川国道事務所調べ(コウノトリの郷来訪者アンケート)

城崎温泉(H17.2調査)



出典：豊岡河川国道事務所調べ(城崎温泉来訪者ヒアリング結果)

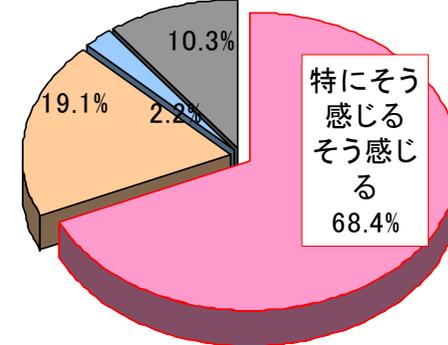


▲但馬地域の観光入り込み客の交通手段

出典：兵庫県但馬県民局

住民の70%が期待している!

【設問】観光客が増え、地域が活性化すると思いますか？



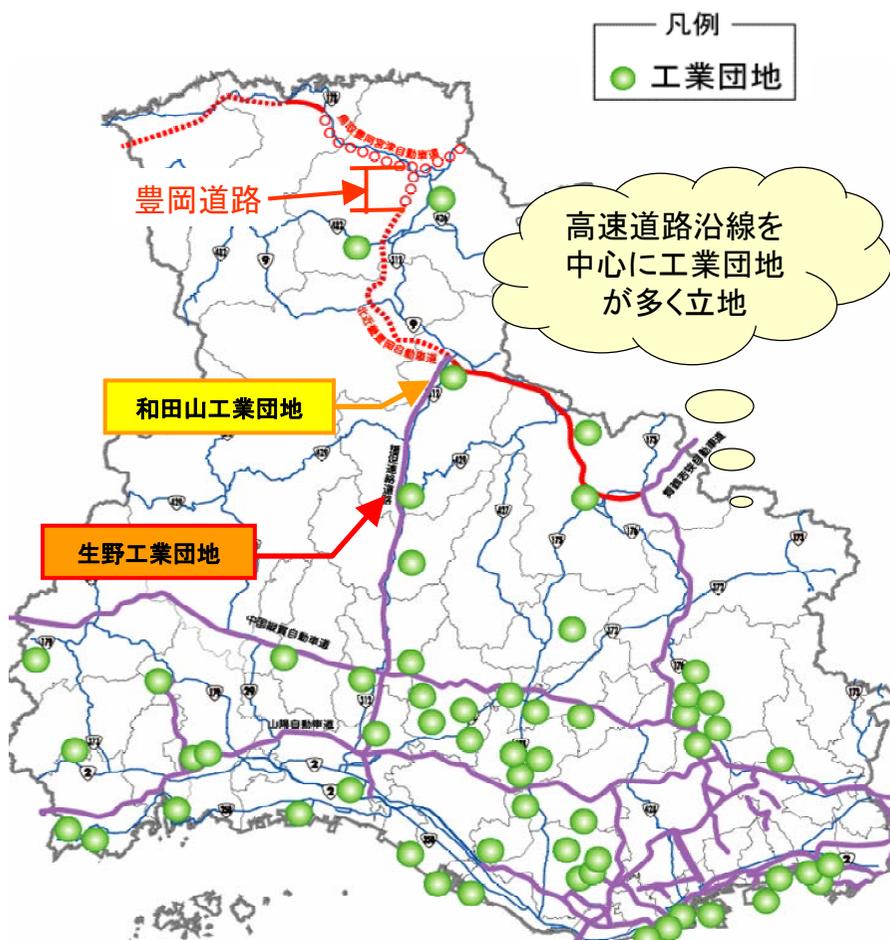
北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」アンケート調査結果(H19)

③ 企業立地の促進

物流の迅速化により沿線の新規企業立地が進みます。

- 兵庫県内の工業団地は、主に**高速道路沿い**(中国道, 山陽道, 舞鶴若狭道)等に**多く立地**している
- 北近畿豊岡自動車道の整備により、**高速道路へのアクセス性が向上**し、物流の迅速化・円滑化が図られることから、沿線の**新規企業立地が進み、雇用の促進や経済の活性化が期待**される。

▼ 兵庫県内の主な工業立地の分布状況



出典: 豊岡河川国道事務所調べ

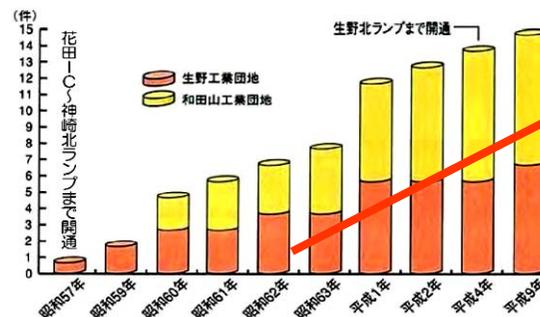


▲ 豊岡鞆(かばん)



▲ ズワイガニ

▼ 播但連絡道路沿線工業団地の企業立地動向

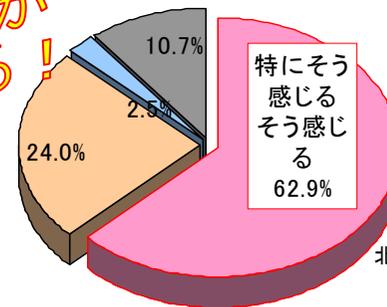


【整備効果事例】
播但連絡道路の北伸により沿線の工業団地では企業立地が促進しました。

出典: 豊岡河川国道事務所調べ

住民の60%が期待している！

【設問】
産業の競争力が増し、地域が活性化すると思いますか？



北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」アンケート調査結果(H19)

④生活道路の渋滞緩和

高速道路整備により、朝と夕方、観光期の渋滞が緩和

- 現在、豊岡市内では、**ピーク時最大1.7kmもの渋滞が観測される**など、朝夕及び休日の交通渋滞が顕著である。
- 大型車や観光交通が豊岡道路に転換することにより、但馬地域の中心都市である豊岡市内における**朝と夕方の時間帯や、観光シーズンの渋滞が緩和される**。
- 渋滞緩和による走行速度向上は、**二酸化炭素(CO2)の削減**にもつながり「**環境にやさしい交通**」が実現

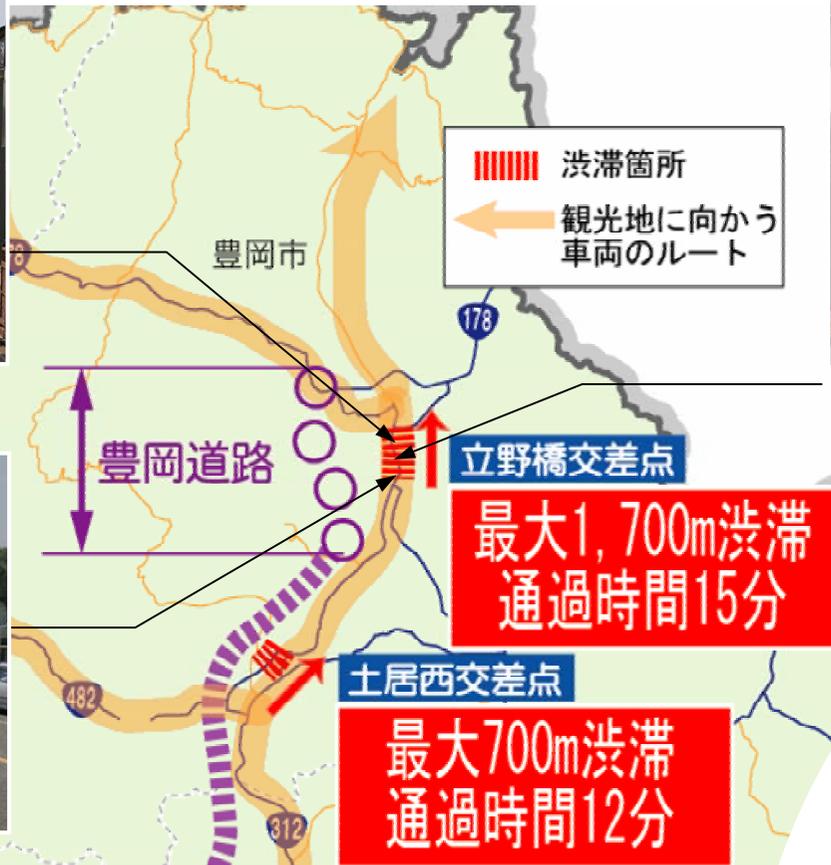
▼ 休日の渋滞状況



▲ 豊岡市城南町



▲ 豊岡市九日市下町



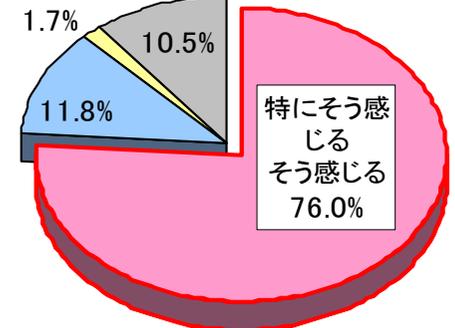
平成19年2月11日(祝)調査



▲ 豊岡市塩津町

住民の75%が期待している!

【設問】
観光シーズンなど休日の交通渋滞が緩和すると思いますか？



北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」 アンケート調査結果 (H19)

⑤交通事故の減少

⑤国道312号等の交通事故を減らします。

・国道312号等と北近畿豊岡自動車道とが適切に交通を分担することにより、国道312号等での交通事故の発生を少なくさせ、**生活環境の向上と安全・安心な道路**が実現できる。

▼ 立野橋周辺の死傷事故率 (全国・兵庫県平均との比較)

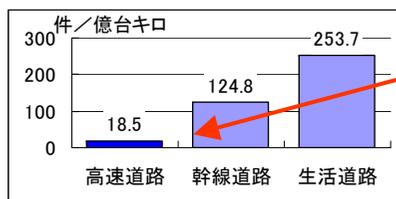
単位: 件/億台キロ

	平成18年度 実績値
全国	115
兵庫県	134
立野橋周辺	339

※県の実績値の約2.5倍

立野橋周辺で事故が多発(全国・兵庫県平均より高い事故率)

▼ 道路の種類ごとの交通事故発生率 (兵庫県平均) 単位: 件/億台キロ

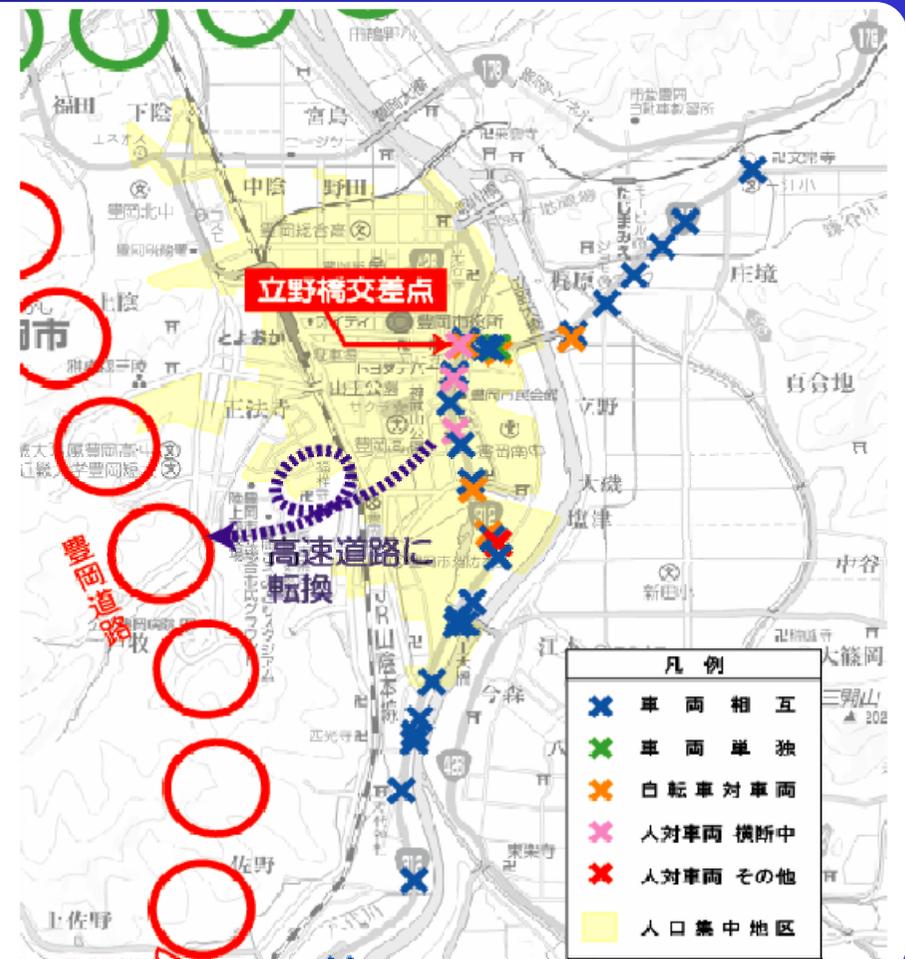
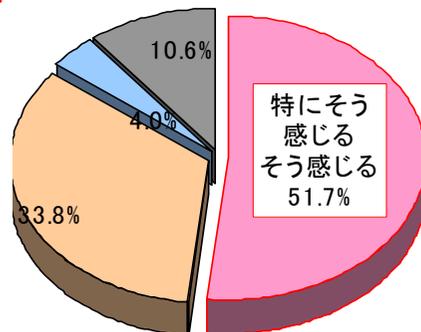


出典: 国土交通省道路局
「平成18年度達成度報告書・平成19年度業績計画書」

高速道路は、一般道の幹線道路や生活道路と比較して、1/10程度の事故発生率である。

住民の50%が期待している

【設問】
豊岡の市街地の道路で交通事故が減ると思いますか？



⑥自然・環境との調和

但馬の豊かな自然環境に配慮した計画とします。

・豊岡市では「環境を良くする取組」と「経済活動」が、相互に刺激しながら互いを高める「環境と経済が共鳴するまち・豊岡」を目指している。

豊岡環境経済戦略(平成17年)

豊岡型地産地消を進めます

豊岡型有機農業を推進します

コウノトリツーリズムを展開します

環境経済型企業の集積を進めます

エコエネルギーの利用を進めます

豊岡道路の整備によって期待されること

地場産業・農作物などの輸送効率向上による地域経済の循環が促進される

有機農作物の域外への移出を容易にし、豊岡の農業を元気にする

大都市からの観光客誘致により、コウノトリをシンボルとしたツーリズムをさらに促進、活性化させる

「環境にやさしい企業」の立地・誘致を物流面から支え、地域の発展に貢献する

市内の交通渋滞を削減することで、化石燃料の消費を抑え、「エコ」なまちを目指す



写真：豊岡市市勢要覧「とよおか豆事典」

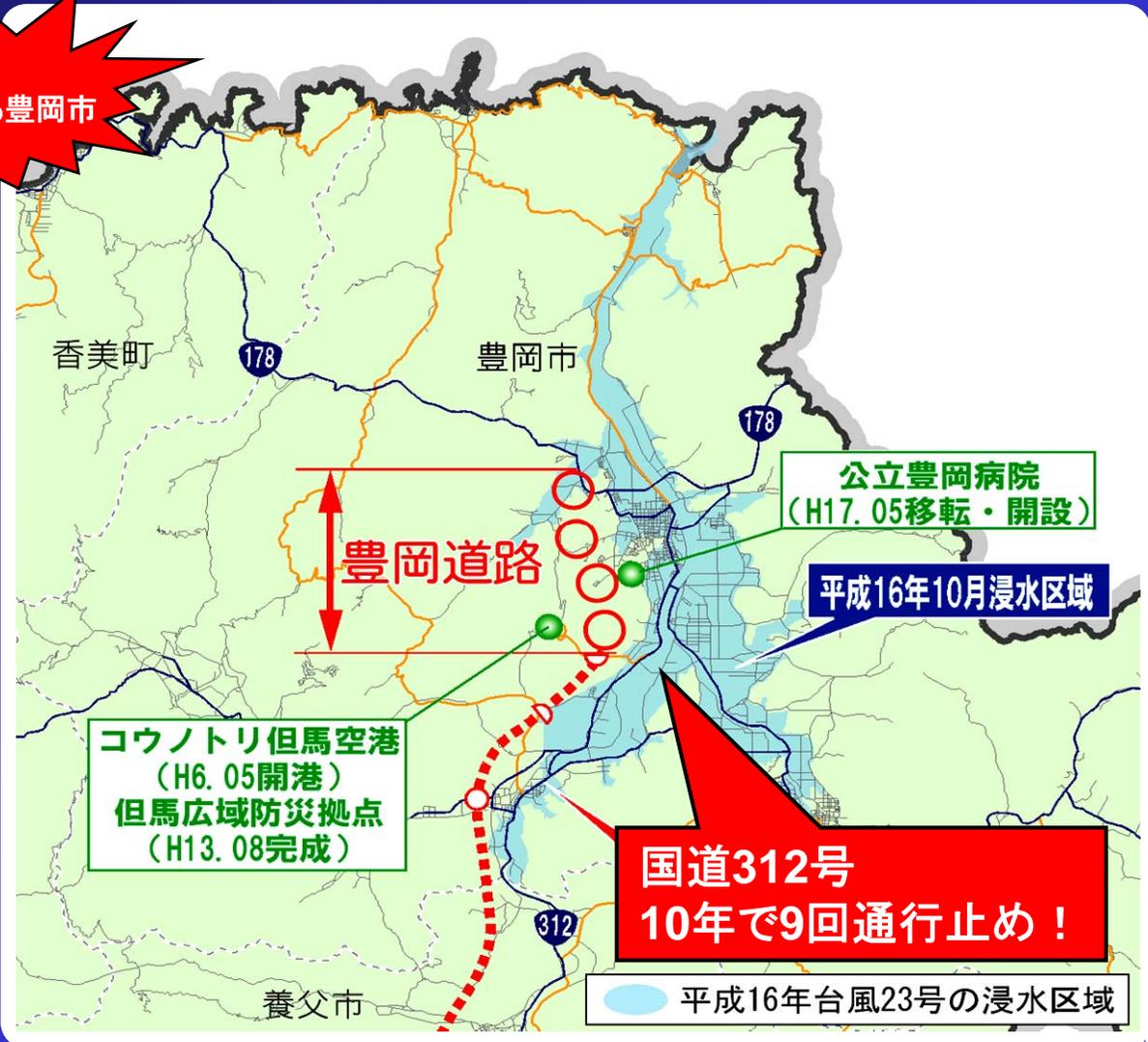
⑦災害時の輸送道路の確保

災害時における緊急輸送路として機能します。

- 平成16年の台風23号では、但馬地域は大きな被害を受け、円山川周辺では**道路が水につかり通行できなくなった**。このため、**救援物資などの輸送や救急救援活動に困難**を強いられた。
- 豊岡道路の整備により、広域防災拠点と連携しつつ、**災害時、緊急時における緊急輸送路**として地域を支える。

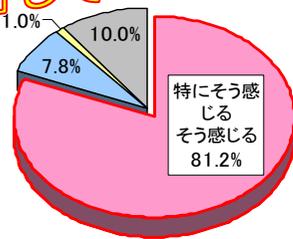


孤立する豊岡市



住民の80%が期待している!

【設問】
災害時に緊急物資など輸送できる道路とし利用でき、安心できると思いますか？



北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」アンケート調査結果(H19)

⑨ 冬季交通の確保

大雪が降った時でも、但馬地域の皆さんの生活を支えます。

- 但馬地域は、東北地方に匹敵する雪が積もる豪雪地帯で、大雪で市民生活に影響が出る場合が多い
- 豊岡道路は、雪に強い道路とすることで、北近畿豊岡自動車道のその他の区間と一体となって、大雪時においても但馬地域の市民の生活を支える。



▲ 積雪時の状況(国道312号 豊岡市内)

但馬地方 今冬一番の大雪

香住68センチ、村岡43センチ、豊岡40センチ

香住で倒木、町道ふさぐ
御崎地区終日、陸の孤島に

御崎地区は終日大雪に悩まされ、倒木が倒れ、町道がふさがり、陸の孤島状態に陥った。香住町は、町道がふさがり、陸の孤島状態に陥った。香住町は、町道がふさがり、陸の孤島状態に陥った。

■土砂崩れも
香住町では、香住川沿いの町道で、土砂崩れも発生している。香住町は、町道がふさがり、陸の孤島状態に陥った。

■道路が渋滞
香住町では、町道がふさがり、陸の孤島状態に陥った。香住町は、町道がふさがり、陸の孤島状態に陥った。

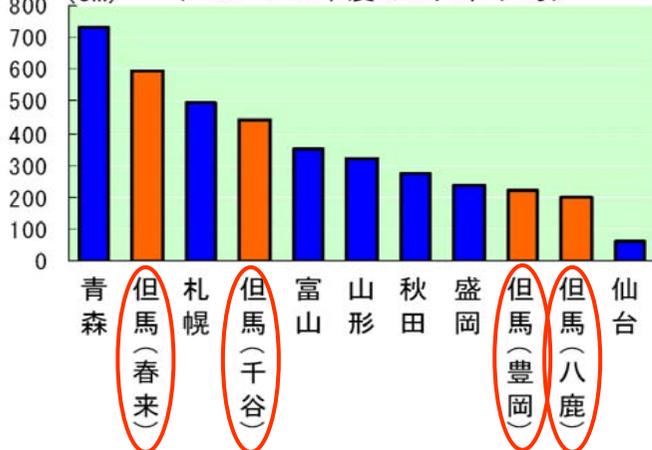
■JRで連休
香住町では、町道がふさがり、陸の孤島状態に陥った。香住町は、町道がふさがり、陸の孤島状態に陥った。

■降雪が4件
香住町では、町道がふさがり、陸の孤島状態に陥った。香住町は、町道がふさがり、陸の孤島状態に陥った。

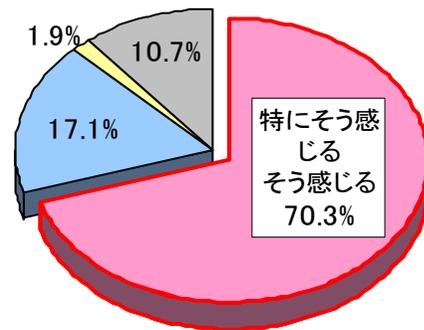
平成16年 1月27日 毎日新聞より

住民の70%が期待している!

日本の代表豪雪地との平均累計降雪量比較 (cm) (H13~H17年度の5ヶ年平均)



【設問】
雪が降った時でもR312に比べ安全に車が走行できると思いますか？



北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」アンケート調査結果(H19)

(6) 計画上のコントロールポイントと 配慮事項の抽出

①コントロールポイント

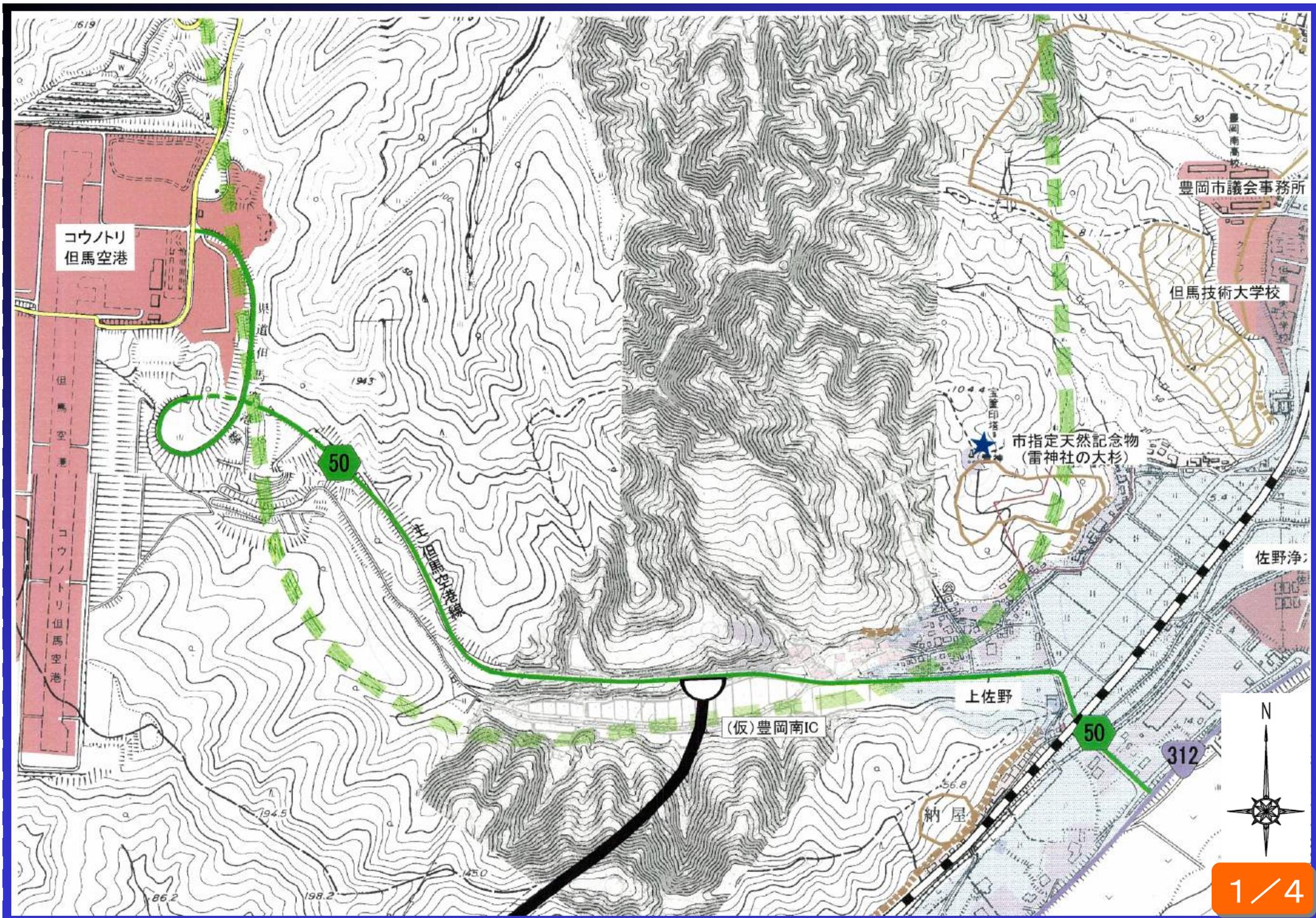
■コントロールポイントとは

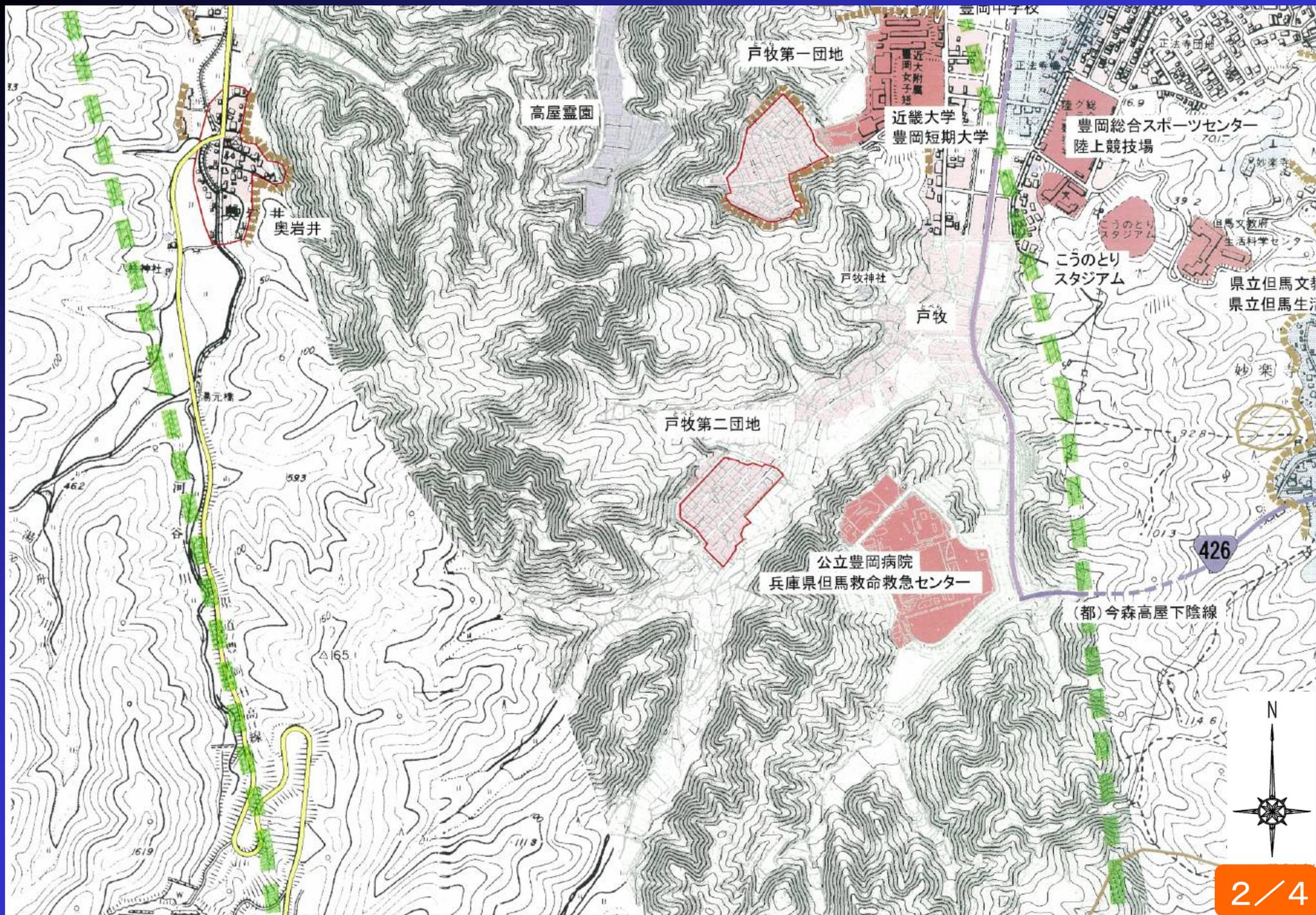
コントロールポイントとは、道路の利便性を考慮して通過すべき地点、支障すると社会的影響等が大きく、避けるべき建物等である。

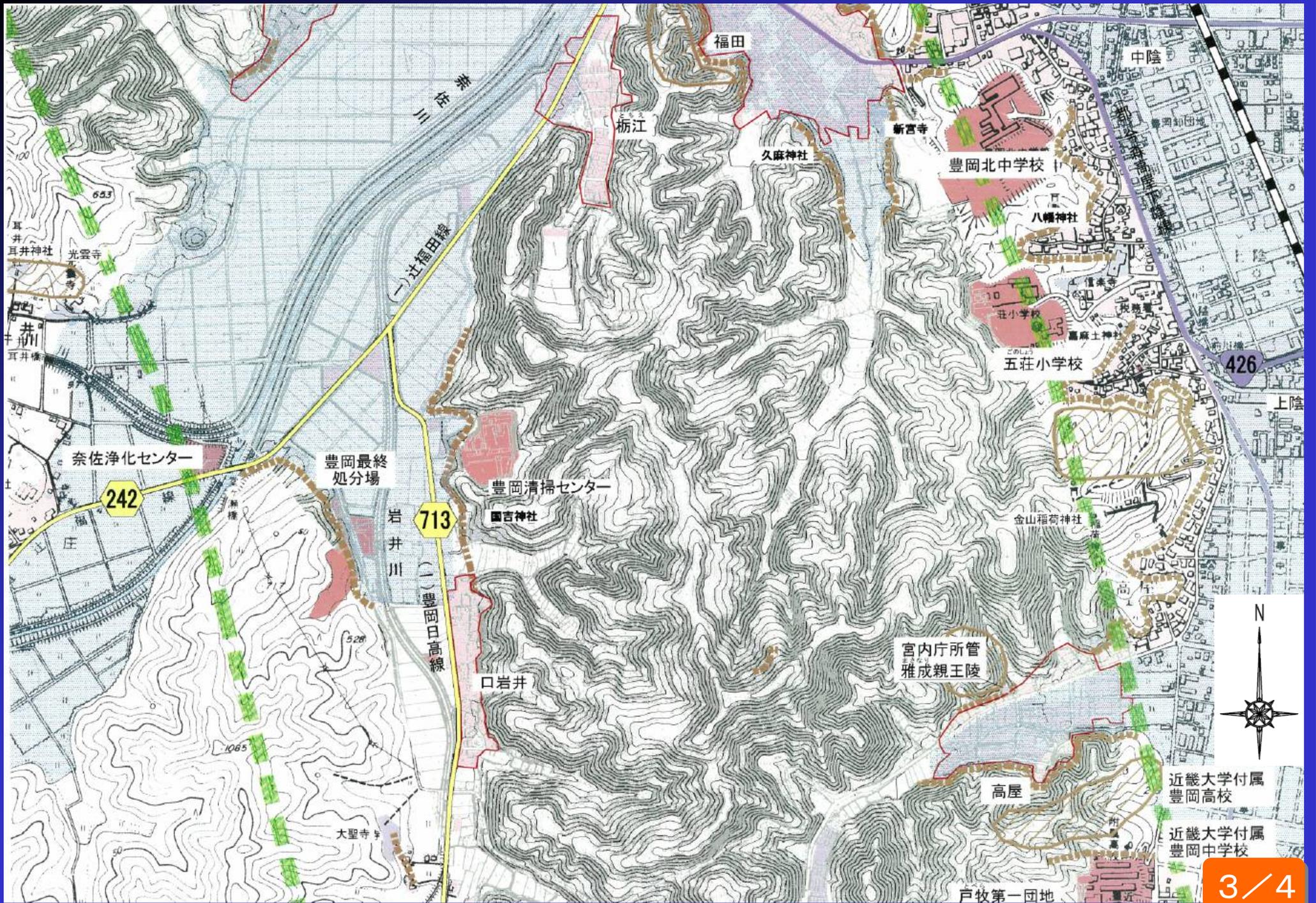


主なコントロールポイントの項目

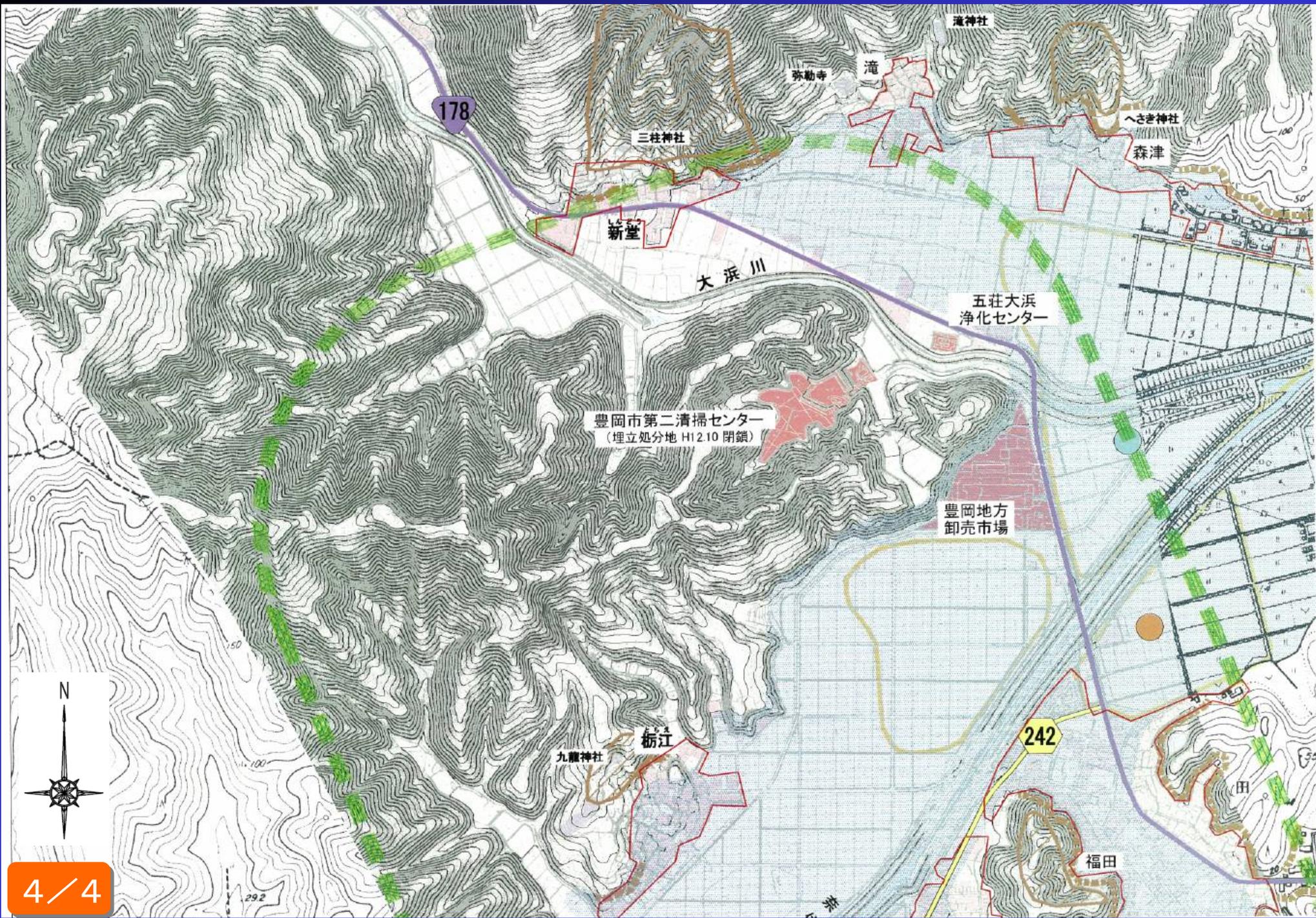
項目	内容
A. 自然	貴重な動植物、貴重な地形・地質等
B. 社会環境	学校、病院、住宅密集地等
C. 文化財等	天然記念物、遺跡、文化財、社寺、仏閣、墓地等
D. 公共施設等	空港、鉄道駅、浄水場、清掃センター等
E. 防災関連	平成16年台風23号浸水区域、地すべり危険箇所等







近畿大学付属
豊岡高校
近畿大学付属
豊岡中学校



■北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」における主なコントロールポイント

項目	1/4枚目	2/4枚目	3/4枚目	4/4枚目
A. 自然 貴重な動植物、 貴重な地形・地質 等	—	—	—	(コウノトリ関連) ・冬期湛水・ビオトープ 実施地区 ・人工巣塔(福田) ・コウノトリ野生復帰 事業の対象地区
B. 社会環境 学校、病院、 住宅密集地 等	(住宅密集地) ・上佐野	(学校) ・近畿大学豊岡短期大学 (病院) ・公立豊岡病院 兵庫県但馬救命救急センター (住宅密集地) ・奥岩井 ・戸牧第一団地 ・戸牧第二団地	(学校) ・近畿大学附属豊岡高校 ・近畿大学附属豊岡中学校 ・豊岡北中学校 ・五荘小学校 (住宅密集地) ・栃江 ・福田 ・高屋 ・口岩井	(住宅密集地) ・新堂 ・滝 ・福田 ・栃江 ・森津
C. 文化財等 天然記念物、史跡、 遺跡、文化財、寺社、 墓地 等	(天然記念物) ・雷神社の大杉(市指定) (墓地) (寺社) ・雷神社	(墓地) ・高屋霊園 等 (寺社) ・戸牧神社 ・八幡神社	(史跡) ・宮内庁所管雅成親王陵 (墓地) ・高屋霊園 等 (寺社) ・大聖寺・金山稻荷神社 ・久麻神社・新宮寺 ・国吉神社	(墓地) (寺社) ・九龍神社
D. 公共施設等 空港、鉄道駅、浄水場、 清掃センター 等	・コウノトリ但馬空港	—	・豊岡清掃センター ・豊岡最終処分場	・豊岡市第二清掃センター (埋立処分地H12.10閉鎖) ・五荘大浜浄化センター ・豊岡地方卸売市場
E. 防災関連 浸水被害区域、 土砂災害区域 等	・但馬広域防災拠点 ・地すべり危険箇所 ・急傾斜地危険崩壊地区 ・浸水区域 (平成16年台風23号に おける浸水被害区域)	・急傾斜地危険崩壊地区	・地すべり危険箇所 ・急傾斜地危険崩壊地区 ・浸水区域 (平成16年台風23号に おける浸水被害区域)	・地すべり危険箇所 ・急傾斜地危険崩壊地区 ・浸水区域 (平成16年台風23号に おける浸水被害区域)

※ 資料は、1/4～4/4枚目の順に南側からの順。

②配慮事項

■北近畿豊岡自動車道アンケート調査結果より

設問: 今後、北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」を、さらに検討していく際に、どのようなことに配慮すべきでしょうか？

- ・ 豊岡市の西側を通るルートとすること
- ・ 住宅地を避け、水田や山林を通るルートとすること
- ・ コウノトリやクマタカなど貴重な動植物と共存できるルートとすること
- ・ 災害時でも走行できるルートとすること
- ・ 冬場でも走行しやすい道路の幅にすること

自由意見

- ・ インターチェンジにアクセスしやすい道路にすること
- ・ コウノトリの餌場の水田に配慮すること
- ・ 粘土質の田園地帯や神社、仏閣、墓地、遺跡に配慮すること
- ・ 景観に配慮すること